TOKYO 世界頂上決戦。

HSBC BWF World Tour Super 750



9.11 TUE.-9.16 SUN.

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018

BADMINTON CHAMPIONSHIPS

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会

武蔵野の森 総合スポーツプラザ　賞金総額：US$700,000

●主催：公益財団法人日本バドミントン協会（NBA）　●公認：世界バドミントン連盟（BWF）　●主管：東京都バドミントン協会　●後援：東京都
●冠協賛：ダイハツ工業株式会社/ヨネックス株式会社　●協力：ベースボール・マガジン社　●大会公式ホームページ：dyjapanbadminton.com/2018

Light you up DAIHATSU　YONEX　HSBC　TOTAL　日本バドミントン協会 Nippon Badminton Association　BWF



鋭い連続スマッシュに最大のパワーを。

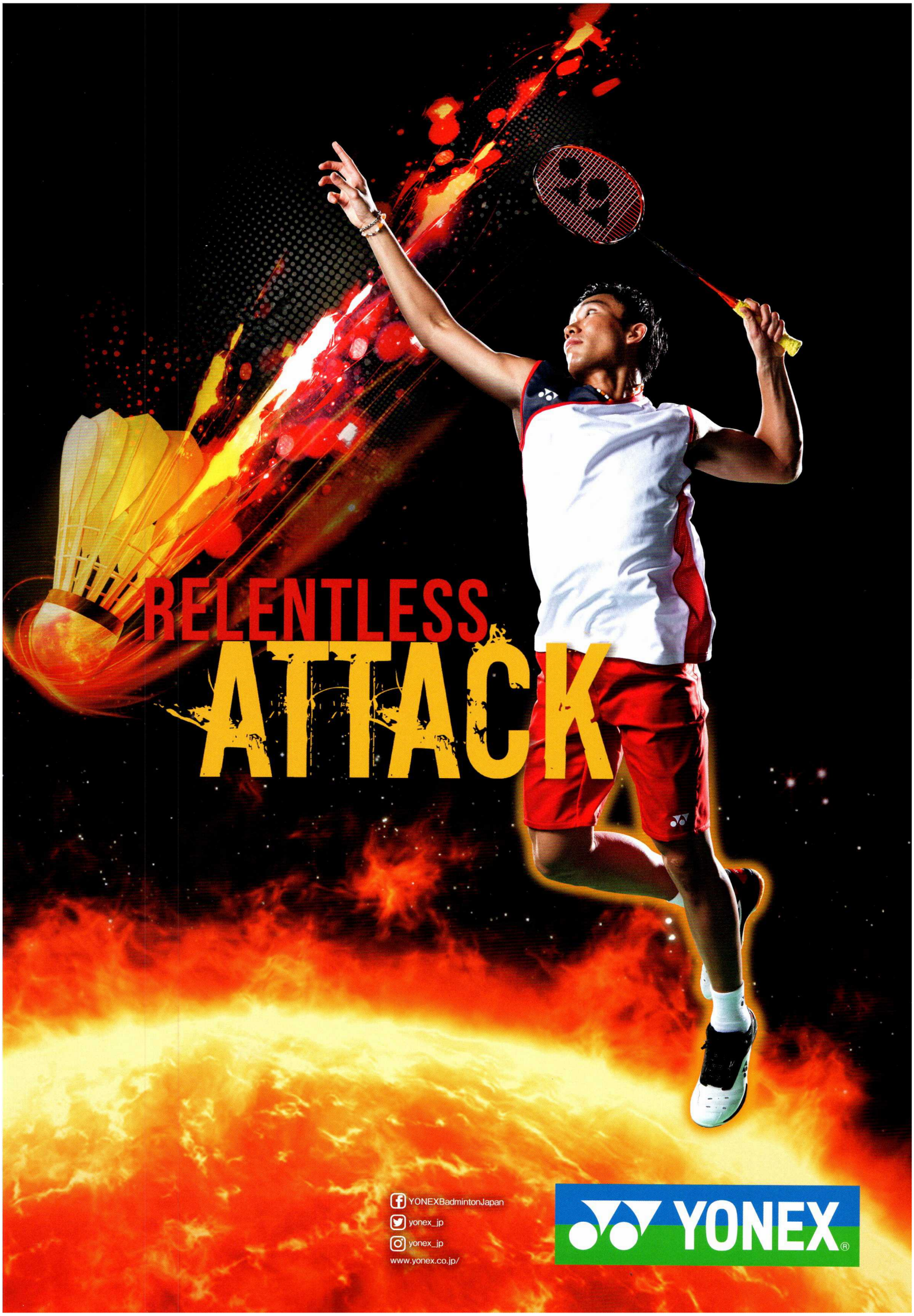
新素材「Namd」をシャフトだけでなくフレーム部にも採用し、ローテーショナルジェネレーターシステムによる重量配分でパワーと操作性を両立。さらにE.B.CAPがシャフトのしなりによるエネルギーをロス無くシャトルへ伝えると共にコントロール性を向上。シャトルの接触時間と押し出す勢いを最大限に高め、ラケット全身で爆発的エネルギーを生む。鋭角に、より強くコートに沈む<アストロクス99>登場。

Namd（エヌアムト） Rotational Generator System E.B.CAP ENERGY BOOST CAP

※Namdは、ニッタ(株)が開発した「ナノ分散カーボンナノチューブを炭素繊維へ均一複合化」する技術です。

NEW ［アストロクス99］……¥26,000+税 日本製

ASTROX 99


RELENTLESS
ATTACK
YONEXBadmintonJapan
yonex_jp
yonex_jp
www.yonex.co.jp/
YONEX


HEAT IT UP!
Rinnai × Badminton
情熱が、人を熱くする。
夢に挑むアスリートの姿に、胸を熱くする。
勝利を願うエールに、プレイヤーが奮い立つ。
競技だけじゃない。仲間と楽しんでいるうちに、夢中になることだってある。
そんな情熱のひろがりをより多くの人と分かち合えるスポーツ、
それが、世代をこえ、地域をこえて親しまれているバドミントンだと思う。
私たちリンナイは、熱で人々の幸せに貢献したいと願い、
世界80ヵ国で、熱のある豊かな暮らしの実現に取り組んできました。
そして、さらなるひろがりを求め、今もなお技術を磨き続けています。
こうした熱い想いを、リンナイは、新たにバドミントンにも注いでいきます。
日本代表チームから、ラケットを握り始めたばかりの子どもたちまで、
バドミントンを全力で応援し、皆さまの健やかな暮らしを熱でサポートする。
私たちの情熱が、きっと誰かを熱くする。そう信じています。
リンナイはバドミントン日本代表を応援しています
DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS
Rinnai

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

CONTENTS

http://dyjapanbadminton.com/2018/
会場:東京都・調布市／武蔵野の森総合スポーツプラザ

07 ごあいさつ

REPORT
12 世界選手権2018◉レビュー
桃田賢斗、松本麻佑 & 永原和可那が世界一!

PREVIEW
15 ◉男子シングルス
若獅子たちの時代へ。
NEW HEROES HAVE COME!
桃田賢斗／ビクター・アクセルセン／石宇奇
林丹／スリカンス・K／孫完虎
アンソニー・シニスカ・ギンティング／西本拳太／常山幹太

19 ◉女子シングルス
メダリストたちの絢爛なバトル。
THE GREATEST BATTLE OF MEDALISTS!
山口茜／キャロリーナ・マリン
プサルラ・V・シンドゥ／奥原希望
戴資穎／ラチャノック・インタノン
陳雨菲／髙橋沙也加／佐藤冴香

25 ◉男子ダブルス
逆境を越えていく猛者たち。
BRAVE MEN OVERCOME ADVERSITY!
ギデオン & スカムルヨ／園田啓悟 & 嘉村健士
ボー & モゲンセン／李俊慧 & 劉雨辰
井上拓斗 & 金子祐樹／陳宏麟 & 王齊麟

29 ◉女子ダブルス
「最強」の争奪戦。
THE BATTLE FOR CROWN
福島由紀 & 廣田彩花／松本麻佑 & 永原和可那
髙橋礼華 & 松友美佐紀／陳清晨 & 賈一凡
ポリー & ラハユ／米元小春 & 田中志穂

34 ◉混合ダブルス
コンビ力で突破せよ。
VICTORY IS ACHIEVED BY COLLABORATION!
鄭思維 & 黄雅瓊／渡辺勇大 & 東野有紗
アフマド & ナッチル／鄧俊文 & 謝影雪
クリス・アドコック & カブリエル・アドコック

40 ROAD TO TOKYO OLYMPIC 2020
東京オリンピック2020までの道

45 LIST OF COMPETITORS
出場予定選手

46 LIST OF WINNERS
歴代優勝者

50 OFFICERS
大会役員

SCHEDULE

※開場・開始時間は変更になる場合があります。

9/11(火) ▶9:30開場／10:00開始
各種目◉1回戦(一部)

9/12(水) ▶9:30開場／10:00開始
各種目◉1回戦(一部)

9/13(木) ▶9:30開場／10:00開始
各種目◉2回戦

9/14(金) ▶9:30開場／10:00開始
各種目◉準々決勝

9/15(土) ▶9:00開場／10:00開始
各種目◉準決勝

9/16(日) ▶9:00開場／11:30開始
各種目◉決勝

TV放映

※放映日時は変更になる場合があります

テレビ朝日
9/15(土)15:00～16:25
9/16(日)13:55～15:20

BS朝日
9/15(土)16:25～17:55
9/16(日)15:20～16:54

J SPORTS 3
9/11 (火)9:50～16:30 1回戦
9/12 (水)9:55～16:30 1回戦
9/13 (木)9:55～17:30 2回戦
9/14 (金)9:55～19:00 準々決勝

J SPORTS 1
9/15 (土)21:30～26:30
9/16 (日)7:00～11:00

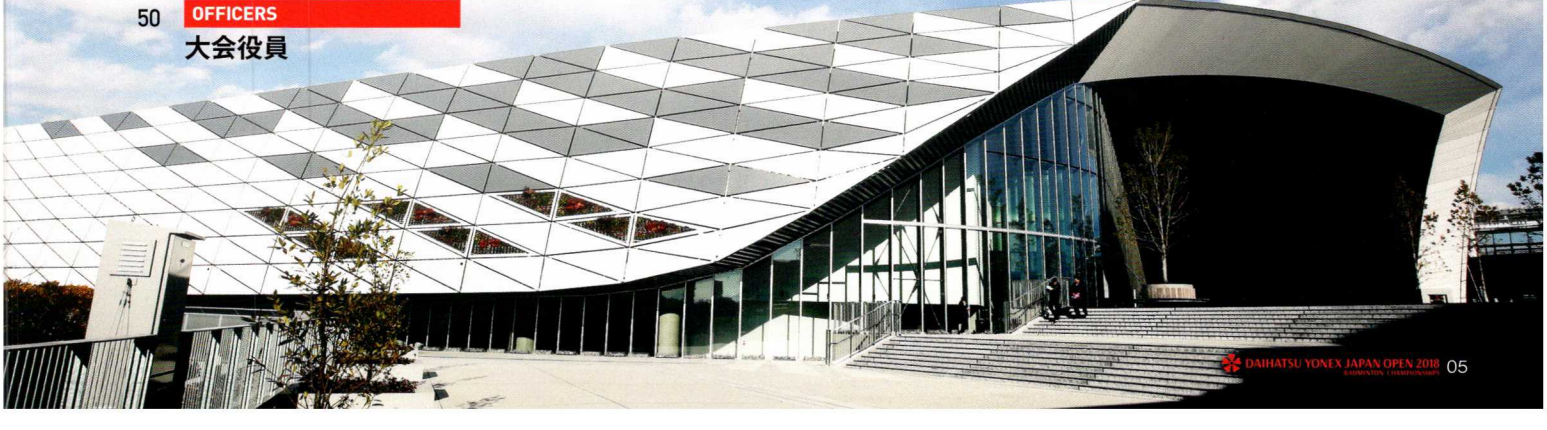
J SPORTS 2
9/16 (日)19:00～26:00

賞金総額

US $700,000

主催 公益財団法人日本バドミントン協会(NBA)
公認 世界バドミントン連盟(BWF)
主管 東京都バドミントン協会
冠協賛 ダイハツ工業株式会社・ヨネックス株式会社
World Tour Sponsor HSBC
協賛 イフイング株式会社
株式会社再春館製薬所
リンナイ株式会社
日本ユニシス株式会社
東日本電信電話株式会社
協力 味の素株式会社
株式会社エムアイジェイ
株式会社協栄
ダイドードリンコ株式会社
トナミ運輸株式会社
日本バドミントン専門店会
株式会社ニュー・オータニ
株式会社ベースボール・マガジン社
株式会社ラケットショップフジ
オフィシャルシャトルコック ヨネックス[トーナメント]
オフィシャルコート ヨネックスコート
大会プログラム製作 ベースボール・マガジン社
バドミントン・マガジン編集部

©ベースボール・マガジン社2018
プログラム掲載の記事、写真の無断転載および複写を禁じます



Dr. Jr.



TOKIO

インカラミ

www.tokio.tokyo

TOKIO IE

INKARAMI PREMIUM

TOKIO IE

INKARAMI PLATINUM

TOKIO IE

INKARAMI HEAD SPA



IFING イフイング株式会社 ドクタージュニア事業部 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 11F TEL. 03-6263-9605 URL www.dr-jr.com

MESSAGES ごあいさつ

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018に寄せて



世界バドミントン連盟 会長

ポール・エリック・ホイヤー

Poul-Eric Høyer

今年も最後の四半期に入り、「HSBC BWFワールドツアー」は統一性のあるトーナメント構造へと移行し、また4大会では100万ドルの賞金総額を有するまでに進化しました。

「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会」は現在、スーパー750の大会として位置づけられており、日本のバドミントンファンにとっては世界で最も優れた選手を見る絶好の機会となります。

その中でも過日、中国の南京で開催された世界選手権大会で新しく世界チャンピオンに輝いた男子シングルスの桃田賢斗、および女子ダブルスの松本麻佑／永原和可那、これらの選手のプレーを目の当たりにできる日本のファンは胸が高鳴ることと思います。

近年の日本選手の世界舞台での台頭は、世界中のファンから賞賛を受け続けており、日本のファンが今後もより強いパフォーマンスを期待できると確信しています。

また、今年は東京オリンピック2020でバドミントンを開催する武蔵野の森総合スポーツプラザで行われる予定であることも注目に値するところです。そしてこの事実は、今大会に出場する選手にもっと高いモチベーションを与えることになります。

多大なご尽力により今年もすばらしい大会を開催していただく日本バドミントン協会およびその役員の皆さま、ボランティアの皆さま、またHSBC、トタル、インフロント、およびすべての企業パートナーに感謝申し上げます。

そしてこのバドミントンが盛んな地域でバドミントン三昧の素晴らしい１週間になることを楽しみにしています。最後に、選手の皆さまのご健闘をお祈りし大会のごあいさつといたします。

As we move into the final quarter of the year, the HSBC BWF World Tour has been an evolutionary period as our sport transitions to a unified tournament structure, with million-dollar prize money in its top four events.

The DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN, now positioned as a Super750 event, gives the host and badminton fans in Japan a golden opportunity to see some of the best players in the world in action.

And to make it even more compelling is the fact that Japanese fans will be able to witness first hand two of Japan's new world champions in action as well with Kento Momota triumphant in the men's singles at the recent World Championships in Nanjing and his teammates Mayu Matsumoto-Wakana Nagahara also crowned world champions in women's doubles. Japan's rise in world badminton continues to draw accolades from fans around the world and I firmly believe Japanese fans can expect much stronger performances from their players in the future.

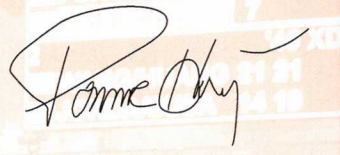
It is also worthy to note that this year's event will be played at the Musashino Forest Sports Plaza – which will host badminton at the Olympic Games Tokyo 2020. This gives more motivation for players to compete in Tokyo this year.

I would like to thank Nippon Badminton Association and their team of officials and volunteers for presenting what promises to be another spectacular event. Thanks also to HSBC, TOTAL, Infront and all our corporate partners.

We look forward to a week of fantastic badminton in one of the heartlands of our sport.

Good luck to all players.

Poul-Erik Høyer
BWF President





公益財団法人日本バドミントン協会 会長

綿貫民輔

「第37回ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会」が2020年オリンピック東京大会バドミントン会場となる武蔵野の森総合スポーツプラザで盛大に開催できることは、本会関係者すべての大きな喜びとするところです。

一昨年８月に行われたリオ・デ・ジャネイロオリンピックでは女子ダブルスの高橋礼華／松友美佐紀組が待望の金メダルを劇的な勝利によって獲得、女子シングルスでは銅メダルを奥原希望選手が獲得し、日本中が歓喜の渦に包まれました。本年は日本女子チームがユーバー杯を37年ぶりに獲得、トマス杯では日本男子チームが準優勝となりました。また第24回世界バドミントン選手権大会2018では男子シングルス金メダル：桃田賢斗選手、男子ダブルス銀メダル：園田啓悟／嘉村健士組、女子ダブルス金メダル：松本麻佑／永原和可那組、銀メダル：福島由紀／廣田彩花組、銅メダル：米元小春／田中志穂組、女子シングルス銅メダル：山口茜選手と日本選手が大活躍しました。これ以外にも多くの国際大会で日本選手が好成績を残しており、いよいよ２年後に迫ったオリンピック東京大会ではさらなる大活躍が期待されます。本大会はオリンピック東京大会へ勢いをつける大会ともなり、日本選手たちが大会を盛り上げていただけるものと考えています。そしてその中からオリンピック東京大会で表彰台に上る選手たちが現れることと思います。

世界のトッププレーヤーの多くの方々がこの大会に参加していただくことはとてもありがたいことであり、感謝申し上げます。この大会で競い合うことでお互いに技術向上を図っていただければうれしく思います。そしてこの大会に集う選手も含め、多くの方々の間で交流が図られれば開催する側にとってこの上ない喜びです。観客の皆さまにとっても、世界各国からトッププレーヤーが集まるこの大会は世界最高のバドミントン技術を学ぶ絶好のチャンスです。バドミントン愛好者は是非、この大会を観戦することでご自身のレベルアップを図り、日本のバドミントン界全体のレベルアップにつなげていただければと存じます。

終わりに、本大会開催にあたりまして多大なご支援、ご尽力をいただきました、ＢＷＦ、東京都の関係各位、協力企業関係者各位に衷心から感謝申し上げましてごあいさつといたします。

We are very happy to host 37th DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 here at the Musashino Forest Sport Plaza which will also serve as a venue for Olympic Games Tokyo 2020.

In August the year before last at Rio Olympic Games, Ayaka Takahashi and Misaki Matsutomo pair won long awaited Gold medal in Women's Doubles, Nozomi Okuhara won Bronze medal in Women's singles, bringing joy and delight to all over Japan. This Year, Japan Women's team won Uber Cup, first time in 37 years, and Men's team became the second at Thomas Cup.

Furthermore, Badminton World Championships 2018 became true stardom for Japanese players with Kento Momota winning Men's singles Gold medal, Keigo Sonoda and Takeshi Kamura pair winning Men's Doubles Silver medal, Wakana Nagahara and Mayu Matsumoto pair winning Women's Doubles Gold medal, Yuki Fukushima and Sayaka Hirota pair winning Women's Doubles Silver medal, Koharu Yonemoto and Shiho Tanaka pair winning Women's Doubles Bronze medal, as well as Akane Yamaguchi winning Women's Singles Bronze medal.

In addition to the above, Japanese players have made outstanding results at many other international tournaments and we are hoping for even greater success at upcoming Olympic Games Tokyo 2020. DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 will give momentum to Tokyo 2020 and I believe that Japanese players will make DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 very exciting. I also believe that we will see some of the players on Olympic podium.

I am very grateful that so many world class players are joining this year's competition. I hope that competing with each other will push everybody's skills to higher level. Also, don't miss this great opportunity to deepen your friendship. I believe this championship is a chance for all spectators to learn world class badminton techniques by watching top players from different countries. To all badminton lovers, I hope you will enjoy watching the games and it will improve not only your badminton skills but also will contribute to raising badminton level in Japan in general.

Finally, I would like to express my gratitude for all the support to BWF, Tokyo Metropolitan Government and all concerned parties of the cooperating companies. Thank you for your great support and efforts in holding this competition.

Tamisuke WATANUKI
President, Nippon Badminton Association NBA



MESSAGES ごあいさつ

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018に寄せて



東京都バドミントン協会 会長

千葉健夫

「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会」が2020年東京オリンピック バドミントン競技会場となる「武蔵野の森総合スポーツプラザ」で盛大に開催されますことは大変喜ばしく、心より歓迎申し上げます。

昨年のこの大会では、多くの日本人選手が上位入賞を果たし会場を盛り上げてくれました。今年に入っても日本人選手の活躍が注目される中、５月にタイ・バンコクで開催されました 第30回世界男子バドミントン選手権（トマス杯）大会では準優勝を、第27回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会では見事優勝に輝きました。また、８月に中国・南京で開催されました 第24回世界バドミントン選手権大会では男女合わせて金２個を含む６個のメダルを獲得するという快挙を成し遂げてくれました。これらの興奮が覚めやらぬ中、世界最高レベルの選手が集い、私たちの目の前で熱戦を繰り広げてもらえるこの大会に、私たち多くのバドミントン愛好者は大きな期待を寄せるところであります。

今回の大会を通じ、ジュニア選手・指導者、日頃バドミントン競技を楽しんでいる皆さまには、各国選手の熱戦の中から受ける感動が今後の刺激となってくれることを、またバドミントンを観戦し競技の面白さを知ってくださっている愛好者にはますます興味をもっていただくことを真に願っております。

さて、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まで２年と迫ってまいりました。2020年大会の成功には、多くの方々のご支援・ご協力が必要です。是非、スポーツイベント等のボランティア活動に積極的に参画いただき、機運醸成にご協力くださることをご期待申し上げます。これから先、世界各地から数多くのバドミントン関係者や観光客の方々が日本を訪れてもらえるものと楽しみにしております。是非、皆さまにおかれましては各国の方々との交流を深め、友情の輪を広げてくださることを願っております。

これから先、様々なイベントが日本各地で開催されると思われます。東京都バドミントン協会はこれらのイベントへ積極的に参画し、皆さま方と一致団結しスポーツの運営支援や将来に向けた環境整備に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本大会の開催にご尽力くださいました関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆さまのご健闘を祈念しごあいさつとさせていただきます。

I am very pleased that the DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 Badminton Championships is to be held at Olympics Games Tokyo 2020 Badminton competition site, Musashino Forest Sport Plaza.

Many Japanese players got top prizes at this tournament last year and made it very exciting for spectators. Success of Japanese players continues to draw attention this year as well. Men's team won 2nd prize at 30th Thomas Cup and Women's team won first prize at 27th Uber Cup held in May in Bangkok. Moreover, at the 24th Badminton World Championships held in Nanjing, China, Japanese players achieved a great success by winning six medals, including two golds, together with Men and Women. Many badminton admirers are looking forward to see world class players to face each other in fierce battle for the Championship title.

I hope this tournament will serve as a motivator and inspiration for all junior players and their coaches, as well as source of joy and excitement for all badminton fans.

Only two years are left until Olympics and Paralympic Games Tokyo 2020. Its success depends on support and cooperation from many people. We are looking forward to your active participation in volunteer activities at different sports events to foster the momentum together. I am also very excited to welcome to Japan many badminton officials and visitors from all around the world. Please use this great opportunity to expand and deepen friendship with people from different countries.

From now on, various events will be held in different parts of Japan. The Tokyo Metropolitan Badminton Association will continue to participate actively in events to support the sports management and future of sports in Japan.

Lastly, I would like to express my sincere gratitude to all the stakeholders who worked hard to prepare this tournament. I am looking for the success of the DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 and great performance by all participating players.

Tateo CHIBA
Chairman, Tokyo Metropolitan Badminton Association

千葉健夫



東京都知事

小池百合子

「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会」が、ここ東京において盛大に開催されますことを、お慶び申し上げます。また、都民を代表して、海外及び国内各地から参加された選手ならびに役員の皆さまを心から歓迎いたします。

本大会は、世界各国からトップレベルの選手たちが集い、競いあう国際大会であり、その競技力の高さから世界でも大変注目されている大会であるとうかがっております。

選手の皆さまには、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮していただくとともに、高いレベルのダイナミックなプレーで、観る者に感動と勇気を与えてくださることを期待いたします。

さて、開催まで２年を切った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、東京都は現在、総力を挙げて準備を進めています。さらに、これを機にスポーツが日常にとけ込み、誰もがいきいきと豊かに暮らせるスポーツ都市・東京の実現をめざして、東京都スポーツ推進総合計画に基づき、様々な施策を精力的に展開してまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、公益財団法人日本バドミントン協会をはじめ、本大会の開催にご尽力された関係者の皆さまに深く敬意を表するとともに、本大会のご成功を祈念してあいさつといたします。

It gives me great pleasure to have the DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 Badminton Championships held in Tokyo. On behalf of the people of Tokyo, I would like to extend a heartfelt welcome to all of the athletes and officials who have gathered here from Japan and around the world.

Top athletes from around the world come to compete against each other in this international tournament, which I understand is in the global limelight due to its high level of competition. Along with fully demonstrating the accomplishments of rigorous training, I look forward to seeing the athletes' stellar and dynamic plays impress and inspire spectators.

With less than two years to go to the Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020, the Tokyo Metropolitan Government is now mobilizing all of its resources to deliver a successful Games. Taking the opportunity presented by the Games, the metropolitan government will also actively implement various measures based on Tokyo's Master Plan for Sport Promotion with the aim of achieving "Sports City Tokyo," where sports are a part of everyday life and everyone can lead happy and fulfilling lives.

In closing, I would like to express my deep respect to the Nippon Badminton Association and everyone who has worked so hard to make this tournament possible. I wish the event every success.

Yuriko Koike
Governor of Tokyo

小池百合子



ダイハツ工業株式会社
代表取締役社長
奥平総一郎

Light you up
DAIHATSU

昨年に引続き本年も「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018バドミントン選手権大会」に冠スポンサーとして携わることができ大変喜ばしく思います。

昨今の日本代表選手の活躍はめざましく、今年５月の「ユーバー杯」では女子が37年ぶり6度目の優勝、「トマス杯」では男子が準優勝、８月の「世界バドミントン選手権大会」では金メダル２個を含む史上最多６個のメダルを獲得、また「アジア競技大会」でも大活躍されるなど、歴史的快挙を次々と成し遂げられ、日本代表選手の皆さまの輝かしい活躍が日本中を沸かせたことは、記憶に新しいことと思います。

本大会はBWFワールドツアースーパー750として昨年から賞金総額が倍増、出場選手は世界ランク32位以上となり、名実ともに世界有数の大会となります。そして、東京2020オリンピックのバドミントン競技会場となる「武蔵野の森総合スポーツプラザ」に会場を移し開催されることで、オリンピックに向けた機運もますます高まってくることと存じます。

本大会が選手の皆さまにとってさらなる飛躍の機会になること、また、世界トップランカーのスーパープレーが多くの方々に勇気と感動を与えてくださることを願っております。

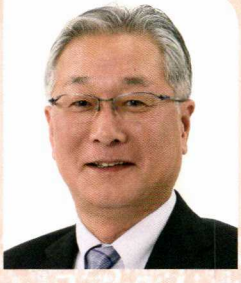
弊社は、多くのお客様に私たちのクルマをお乗りいただいている日本・インドネシア・マレーシアにおいて、本大会をはじめとするバドミントン・パラバドミントンの国際大会協賛や日本代表のサポート、ジュニア大会の協賛など、微力ながらバドミントン競技の普及・発展に貢献すべく、様々なバドミントンの取り組みを行っております。弊社のグループスローガン「Light you up」のもと、クルマ以外でも皆さま一人ひとりに新しい輝きをお届けできればと考えております。

結びに、本大会開催に際しご尽力を賜りました世界バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会ならびに関係者各位、ご協賛各社に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と選手皆さまのご健闘を祈念して、ごあいさつとさせていただきます。

I am truly honored to be given this privilege to become the title sponsor of "the DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018" for the second time in a row.
The Japan national team has been really successful recently, with the women's team winning their 6th Uber Cup title after 37 years, and the men's team becoming the first runner-up of the Thomas Cup, while winning a tremendous run of 6 medals in the Badminton World Championships, which includes 2 gold medals. The successful run continued in the recent Asian Games in Jakarta, Indonesia. The national team has undoubtedly brought a lot of excitement to the entire country by accomplishing such a historical achievement one after another.
This year's tournament will be a part of the BWF World Tour Super 750 and will offer a total prize that doubled last year's edition. The tournament will feature the top 32 in the world ranking, and will certainly become one of the greatest badminton tournaments in the world. This year, the badminton event will be held in the brand-new "Musashino Forest Sport Plaza", which will also be the venue for the 2020 Tokyo Olympics badminton games. I hope that this tournament will be a good platform for all the players to further succeed, and become a source of inspiration to the younger generation.
DAIHATSU has been contributing to the development of badminton since last year and is actively engaged in various events for this purpose. These include sponsoring international badminton and para-badminton tournaments, supporting the Japan national team, and sponsoring grass-root tournaments in Indonesia, Malaysia, and Japan, where our cars are beloved by the people. We hope to light up each and every one's life, not only in car life with our group slogan "Light you up".
Lastly, I would like to express my sincere appreciation and gratitude to the Badminton World Federation, the Nippon Badminton Association, the Tokyo Metropolitan Badminton Association, all the stakeholders and the sponsors for their great commitment to hold this tournament, and wish for the success of this tournament, and all the best to the players as well.

DAIHATSU MOTOR CO., LTD.
President
Soichiro Okudaira

奥平総一郎



ヨネックス株式会社
代表取締役社長
林田草樹

YONEX

37回目となる「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018 バドミントン選手権大会」が今年も盛大に開催できますことを冠スポンサーとして心より感謝申し上げます。今年からBWFのトーナメント体制が変わり、今大会はBWF ワールドツアースーパー750とレベルアップし、さらに2020年東京オリンピックの会場となる武蔵野の森総合スポーツプラザに舞台を移しての開催となります。

本大会は日本バドミントン協会とともに、バドミントン競技の普及・発展を願い歩んで参りました。昨今の日本選手の活躍は著しく、5月にタイ・バンコク市で開催されたトマス杯／ユーバー杯において、日本女子チームは37年ぶり６回目の優勝、男子チームは2014年以来の決勝進出を果たし準優勝という素晴らしい功績を遂げました。さらに８月に中国・南京で開催された世界選手権においては、男子シングルス史上初の金メダルや、女子ダブルスの金、銀、銅メダルをはじめ、４種目で合計６個のメダルを獲得し史上最高の成績を達成、名実ともに世界トップクラスの実力を備えたナショナルチームとなりました。これもひとえに長年の普及活動、選手強化育成など日本バドミントン界を支えてこられた関係方々の多大なるご尽力の賜物であると実感しております。

グレードアップした本大会は、例年以上に世界各国の強豪選手が集結します。彼ら、彼女らが繰り広げる熱戦が子供たちに夢や希望、憧れをもたらし、その数々の真剣勝負が人々に感動を与えてくれることと確信しております。

弊社は「独創の技術と最高の製品で世界に貢献する」を経営理念として掲げ、最高の製品を提供させていただくことで、さらなる競技の普及発展に貢献して参りたいと存じます。また、今後も世界各国の大会協賛を通じ、皆さまに愛されるグローバルブランドを目指し、バドミントンの魅力・素晴らしさをお伝えできますよう全力を注いで参ります。

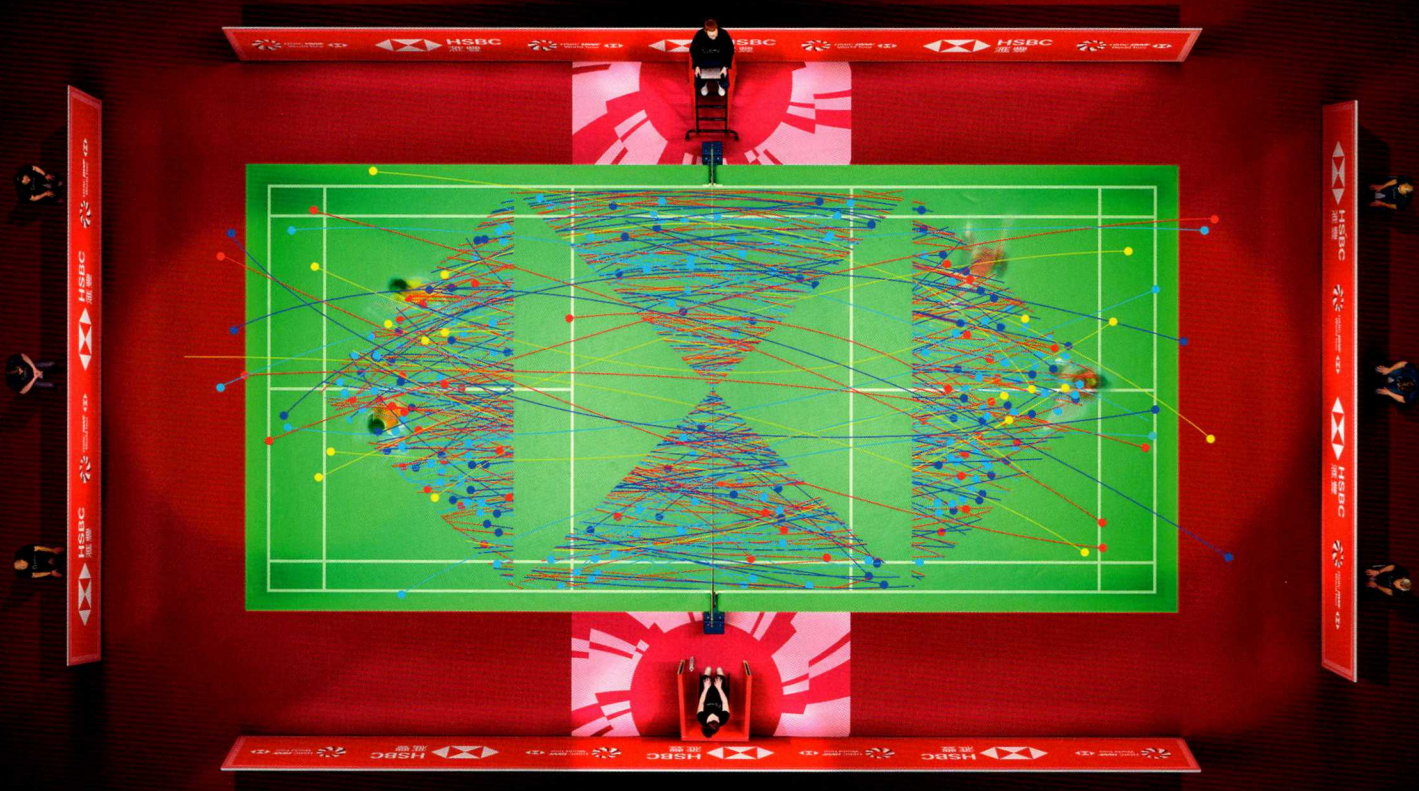
結びとなりますが、大会開催に向けご尽力賜りました世界バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会、そしてバドミントンの発展にご賛同、協賛いただきましたダイハツ工業株式会社様をはじめとするご協賛各社様に心から敬意を表し、大会の成功と選手の皆さまのご健闘を祈念いたします。

I would like to first express my sincerest gratitude as the main sponsor for this year's 37th annual "the Daihatsu Yonex Japan Open 2018". With this year's implementation of new BWF badminton tournament structure changes, we can proudly upgrade this tournament to a BWF World Tour Super 750 event. The tournament venue, Musashino Forest Sport Plaza, surprisingly will also serve as the official venue for the 2020 Tokyo Olympic Games.
In close partnership with the Nippon Badminton Association, we have worked to develop and further grow the sport of badminton in Japan. On pace with recent news of Japanese players' success throughout the world of badminton, we have witnessed consistently strong results by the Japanese National team at the TOTAL BWF Thomas and Uber Cup Finals 2018 hosted in Bangkok, Thailand. There the women's team took home their 6th title in 37 years, and the men's team made their 2nd finals debut since a championship finish back in 2014. In addition, the TOTAL BWF World Championships 2018 held in Nanjing, China saw an unprecedented 6 medals received by the Japanese national team. Capturing their first gold medal in Men's singles history, Women's doubles also took home gold, silver and bronze medals, marking the highest achievement ever in the history of the national team. These achievements, of course, stem from the great efforts and support of all the people involved within the Japanese badminton industry who have focused their efforts in fostering these talented rising athletes.
The upcoming tournament will continue the uphill trend of competitive abilities of world class athletes and attract more fans for another record-breaking year in attendance. The enthusiastic nature of the matches will surely bring new dreams, hopes and admiration to the next generation of badminton players, and leave a lifelong impression on everyone.
At Yonex, we strive "to contribute to the world with innovative technology and the highest quality products," a philosophy all of us aspire to achieve on and off the court. Our duty to the sport and to the fans is to contribute to the further development and rise in popularity of the game by providing the highest quality products on the market. It is our desire to contribute to the global expansion of badminton by sponsoring tournaments around the world. By devoting our efforts towards these various undertakings, Yonex aims to strengthen its global profile and communicate the joy of badminton effectively to the people of the world.
In closing, I would like to express my sincere gratitude to the Badminton World Federation, the Nippon Badminton Association, the Tokyo Metropolitan Badminton Association, and the Daihatsu Motor Co., Ltd. and I wish all the players success in what will be another memorable event in Tokyo.

Kusaki HAYASHIDA
President, YONEX Co., Ltd.

林田草樹

HSBC. Global Development Partner of the Badminton World Federation.



HSBC BWF World Tour

Together we thrive

Issued by HSBC Group



HSBCグループ 在日代表

オリビエ・パクトン
Olivier Pacton

HSBCは、世界20カ国で27大会が開催される「HSBC BWFワールドツアー」のタイトルスポンサーおよびHSBC BWFワールドツアーの主要グローバル・パートナーとして、世界バドミントン連盟（BWF）を支援できることを光栄に思っています。

BWFとの協力関係は、スポーツや健康増進活動に対するHSBCの積極的な姿勢の表れであり、銀行および金融サービス分野における世界有数の企業として、HSBCは現在、ゴルフ、7人制ラグビー、テニス、自転車競技、バドミントンという5つのメジャースポーツの主要なパートナーを務めています。

2020年が近づくにつれて、日本ではスポーツに対する関心が高まっています。バドミントンが世界規模で組織化されたスポーツの一つとなったことは、バドミントン人気の高まりや、競技を始める若者の増加など、このスポーツが一般に普及してきていることを証明するものです。

HSBCは、BWFとのグローバルなパートナーシップにより、バドミントンの普及活動を支援し、日本国内、アジア全域やそれ以外の地域でも、より多くの観客が試合を観戦できるよう尽力して参ります。

「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018　バドミントン選手権大会」では、世界の有力選手が熾烈な戦いを繰り広げることでしょう。参加選手全員の幸運を祈るとともに、観客の皆さまが白熱したトーナメントを楽しまれることを期待しています。

HSBC

HSBC is delighted to be supporting the Badminton World Federation (BWF) as the Principal Global Partner for the HSBC BWF World Tour and the Title Sponsor for the HSBC BWF World Tour, encompassing 27 BWF World Tour Events in 20 countries.

Our association with the BWF is a great way to showcase our commitment towards sports and the larger pursuit of health. As one of the world's largest banking and financial services organisations, HSBC is now a leading partner of five major sports – golf, rugby sevens, tennis, cycling and badminton.

In the run-up to 2020, this is an exciting time for sports in Japan. Badminton's emergence as a sport on the global platform is testimony to its growing popularity and enhanced acceptance at a grass-roots level with an increasing number of young people taking up the sport.

We are committed to support this journey and take this sport to a wider audience in Japan, across Asia and beyond, through this global partnership with the BWF.

The DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 will see some of the leading lights from the world of badminton battling it out. We wish all athletes the best of luck and hope all spectators enjoy an exciting tournament.

Olivier Pacton
CEO, HSBC Japan

MESSAGES
ごあいさつ
ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018に寄せて

Medalists of World Championships 2018
世界選手権2018メダリスト

男子シングルス
金　桃田賢斗(日本)
銀　石宇奇(中国)
銅　謝龍(中国)
銅　ダレン・リュウ(マレーシア)

女子シングルス
金　キャロリーナ・マリン(スペイン)
銀　プサルラ・V・シンドゥ(インド)
銅　何冰嬌(中国)
銅　山口茜(日本)

男子ダブルス
金　李俊慧／劉雨辰(中国)
銀　園田啓悟／嘉村健士(日本)
銅　陳宏麟／王齊麟(チャイニーズ・タイペイ)
銅　張楠／劉成(中国)

女子ダブルス
金　松本麻佑／永原和可那(日本)
銀　福島由紀／廣田彩花(日本)
銅　ポリー／ラハユ(インドネシア)
銅　米元小春／田中志穂(日本)

混合ダブルス
金　鄭思維／黄雅瓊(中国)
銀　王懿律／黄東萍(中国)
銅　鄧俊文／謝影雪(ホンコンチャイナ)
銅　張楠／李茵暉(中国)

GOLD MEDALIST
桃田賢斗
ついに世界の頂点を極めた桃田。優勝後「きついときに自分を奮い立たせてくれたのは"感謝"の気持ちでした」と振り返った



BWF World Championships 2018◉Review
世界選手権2018◉レビュー

桃田賢斗、松本&永原が世界一!
最強JAPANがメダルラッシュ!

中国・南京で開催された「第24回世界選手権」で日本選手が躍動した。男子シングルスの桃田賢斗が、同種目では日本史上初となる世界一を達成。女子ダブルスでは、松本麻佑／永原和可那が日本に41年ぶりの金メダルをもたらした。日本勢はこのほかに4つのメダルを加え、計6個のメダルを持ち帰っている。ここでは世界選手権メダリストの活躍を振り返る。

写真／北川外志廣

3年ぶりに大舞台のコートに帰ってきた桃田。紆余曲折を乗り越えた男の真価が問われる世界選手権で見せたのは、心技体の大きな成長だった。大会直前に腹筋を痛めるアクシデントもあったが、攻撃を封印しながら決勝へ勝ち上がり、中国の若きエース・石宇奇(シー・ユーチー)を破って世界一のタイトルを手中に。「いまは前の自分を超えて進化している最中。優勝に満足せず頑張りたい」と、世界王者はさらなる高みを求めている。

新たな時代が築かれる中で、世界に日本の強さを証明したのが女子ダブルス。金銀銅3つのメダルを獲得する快挙を達成し、最も輝く栄光をつかんだのが初出場の松本麻佑／永原和可那だ。177センチの松本と170センチの永原の2人は、高い打点からの攻撃と堅いディフェンスで強敵を連破。決勝戦では福島由紀／廣田彩花から逆転勝利をもぎとり、表彰台の一番上に立った。「勝ってうれし涙を流したのは初めて。最後まで諦めない気持ちがよかった」と永原。松本は「オリンピックに向けての大きな一歩を踏み出せた。今後も日本対決が熾烈になるので、そこをどう勝ち切るか」と、激化する国内ペアの争いに目を向けた。

このほか、男子ダブルスの園田啓悟／嘉村健士の銀メダル、女子シングルス・山口茜の銅メダルなど、計6個のメダルを手にした日本勢。8月中旬に開幕したアジア大会（インドネシア・ジャカルタ）でも、日本



GOLD MEDALISTS

松本麻佑(右) & 永原和可那

日本４番手の位置から一気に世界トップに躍り出た松本麻佑／永原和可那。凱旋試合となるジャパンオープンでは勝ち星に恵まれていないため「まずは1回戦を突破したい」（松本）







SILVER MEDALISTS

福島由紀(左) & 廣田彩花

２年連続銀メダルという悔しい結果に終わった２人だが「去年とは違う意味での銀メダル」（福島）と、ペアとしての成長も実感した



女子が48年ぶりに団体優勝を遂げ、女子ダブルスの髙橋礼華／松友美佐紀が銀メダルをつかんだ。ダイハツ・ヨネックスジャパンオープンでは、日本の快進撃がさらに加速するに違いない。「会場に来た皆さんに自分たちのプレーをたくさん見てもらえるように頑張りたい」とは、ダブルス女王の永原。世界の頂点を争った選手たちのハイレベルなプレーはもちろん、日本勢の歓喜の瞬間も見逃すことはできない。

SILVER MEDALISTS

園田啓悟(右) & 嘉村健士

ドライブを主体とした低空戦で強敵を退けてきた園田啓悟／嘉村健士は、前回の銅メダルから輝きが増した

BRONZE MEDALIST

山口 茜

「銅メダルは合格点かもしれないけど、（準決勝の）内容としては悔しい気持ちがある」と山口。初のメダル獲得にも満足はしなかった



BRONZE MEDALISTS

米元小春(左) & 田中志穂

米元／田中は前回ベスト８から銅メダル。「今後は日本人同士の勝負が多くなる。勝ち抜くためにフィジカルを鍛えたい」（田中）と、次なる戦いに目を向けた


HEAT IT UP!
Rinnai × Badminton
情熱が、人を熱くする。
夢に挑むアスリートの姿に、胸を熱くする。
勝利を願うエールに、プレイヤーが奮い立つ。
競技だけじゃない。仲間と楽しんでいるうちに、夢中になることだってある。
そんな情熱のひろがりをより多くの人と分かち合えるスポーツ、
それが、世代をこえ、地域をこえて親しまれているバドミントンだと思う。
私たちリンナイは、熱で人々の幸せに貢献したいと願い、
世界80ヵ国で、熱のある豊かな暮らしの実現に取り組んできました。
そして、さらなるひろがりを求め、今もなお技術を磨き続けています。
こうした熱い想いを、リンナイは、新たにバドミントンにも注いでいきます。
日本代表チームから、ラケットを握り始めたばかりの子どもたちまで、
バドミントンを全力で応援し、皆さまの健やかな暮らしを熱でサポートする。
私たちの情熱が、きっと誰かを熱くする。そう信じています。
リンナイはバドミントン日本代表を応援しています
DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS
Rinnai



桃田賢斗
ももた・けんと

MOMOTA Kento

（日本）

1994年9月1日（24歳）／175cm68kg／左利き
NTT東日本／香川県出身／富岡第一中ー富岡高

RECORDS

'18世界選手権優勝
'15'18インドネシアオープン優勝
'15スーパーシリーズファイナルズ優勝

REMARKS

昨年、再スタートを切ったとき、世界ランクは282位。ここから苦しい下積みを経て、８月、世界王者になった。今大会には３年ぶりに出場。非凡なネット技術で日本男子初Vに挑む。

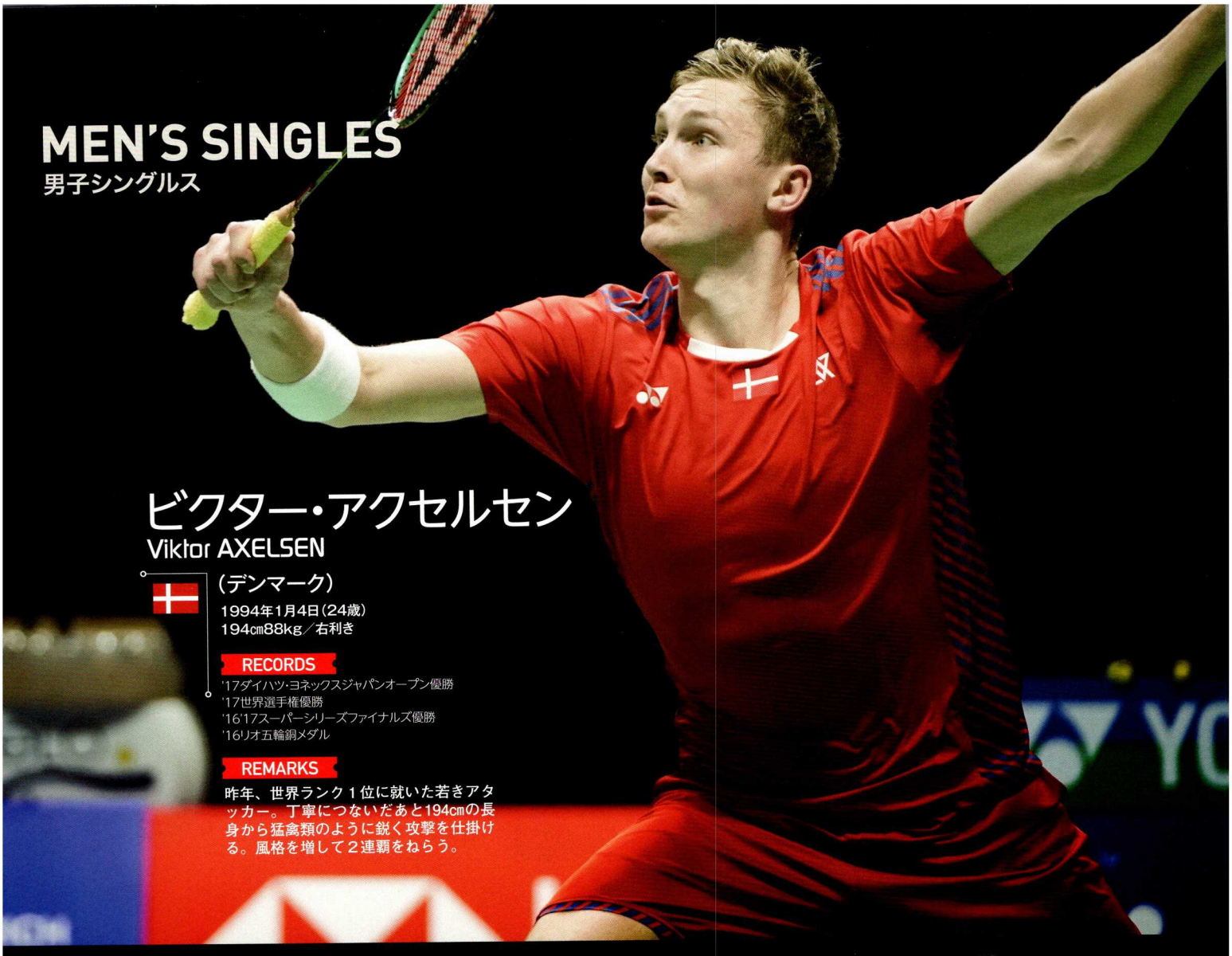
MEN'S SINGLES
男子シングルス

NEW HEROES HAVE COME!

若獅子たちの時代へ。

時代は移り変わる――。
栄華を極めた者のあとを、若き者たちが奪いにかかる壮絶な戦いは始まった。
王座に辿りつく者は誰か、見極めよ。

MEN'S SINGLES
男子シングルス



ビクター・アクセルセン
Viktor AXELSEN

（デンマーク）
1994年1月4日（24歳）
194cm88kg／右利き

RECORDS
'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン優勝
'17世界選手権優勝
'16'17スーパーシリーズファイナルズ優勝
'16リオ五輪銅メダル

REMARKS
昨年、世界ランク１位に就いた若きアタッカー。丁寧につないだあと194cmの長身から猛禽類のように鋭く攻撃を仕掛ける。風格を増して２連覇をねらう。

石宇奇 シー・ユーチー
SHI Yuqi

（中国）
1996年2月28日（22歳）
184cm65kg／右利き

RECORDS
'18世界選手権2位
'18全英選手権優勝
'18インドオープン優勝

REMARKS
五輪優勝の林丹、謝龍の継承者として期待される中国のエース。世界選手権決勝で桃田に敗れたが、得点に至るまでの緻密なラリーと強い執着心は光らせた。

林丹 リン・ダン
LIN Dan

（中国）
1983年10月14日（34歳）
178cm70kg／左利き

RECORDS
'12ロンドン五輪金メダル
'08北京五輪金メダル
世界選手権5回優勝
全英選手権6回優勝
ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン3回優勝

REMARKS
2004年に世界ランク１位に就いて以来、約10年にわたって王として君臨。激烈な情熱で五輪連覇を成し遂げた。来月35歳になるが、円熟の試合運びで今も若手には大きな壁だ。

© Tang Shi



スリカンス・K
Srikanth KIDAMBI

（インド）
1993年2月7日（25歳）
178cm66kg／右利き

RECORDS
'17デンマークオープン優勝／'17フランスオープン優勝
'16リオ五輪8強

REMARKS
堅実なラリーのなかに相手の隙を突くスマッシュを交ぜ、緩急つけて戦う。戦況に関わらず自分のペースに徹する心の強靭さは見事。ポーカーフェイスぶりを見てほしい。



孫完虎 ソン・ワンホ
SON Wan Ho

（韓国）
1988年5月17日（30歳）
176cm65kg／右利き

RECORDS
'18全英選手権3位
'17スーパーシリーズファイナルズ3位
'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン3位

REMARKS
2017年７月から9月まで世界ランク1位を保持した。大きなタイトルは持っていないが、豊富なスタミナと堅実さで上位常連。世界の魅力ある役者の一人だ。



アンソニー・シニスカ・ギンティング
Anthony Sinisuka GINTING

（インドネシア）
1996年10月20日（21歳）
170cm65kg／右利き

RECORDS
'18アジア大会3位
'18インドネシア・マスターズ優勝
'17韓国オープン優勝

REMARKS
エース不在が続いたインドネシアの希望の星。アジア大会ではダブルス的な速攻で桃田に勝利し、一躍時の人に。伝説の人・ヒダヤットを思わせるハイバックが光る。



西本拳太 にしもとけんた
NISHIMOTO Kenta

（日本）
1994年8月30日（24歳）
180cm73kg／右利き
トナミ運輸／三重県出身
小俣中一埼玉栄高一中央大

RECORDS
'18アジア大会3位／'18マレーシアマスターズ準優勝
'17フランスオープン準優勝

REMARKS
８月末のアジア大会で日本に48年ぶりに男子単のメダルをもたらす快挙を演じた。昨年７月、世界ランク86位からの大躍進。爽快なアタック力を武器にさらに上をめざす。



常山幹太 つねやまかんた
TSUNEYAMA Kanta

（日本）
1996年6月21日（22歳）
173cm60kg／右利き
トナミ運輸／滋賀県出身
草津中一東大阪大柏原高

RECORDS
'18世界選手権8強／'18タイオープン優勝
'17カナダオープン優勝／'17オーストリアオープン優勝

REMARKS
「どんな球も拾って相手をうんざりさせたい」という強固な守備型。最近は守りのバリエーションが増え逆に攻撃場面を増している。泥臭さが身上の日本の三番手だ。

展望◉PREVIEW

世界王者・桃田の凱旋試合 因縁のライバルやベテランが倒しにかかる

８月の世界選手権、日本の歴史がまた動いた。ドロー枠62と勝ち抜くのがもっとも過酷な大会で、桃田賢斗が日本に初の男子シングルス金メダルをもたらした。３年ぶりに出場する今大会で、24歳は世界王者として初優勝をめざす。

桃田が世界の第一線を離れている間、世界の勢力図は大きく動いた。北京＆ロンドン五輪の決勝を争った林丹（リン・ダン）とリー・チョンウェイ（マレーシア）、そしてリオ五輪の金メダリスト、謝龍（チェン・ロン）が君臨する時代は終焉を迎えつつある。そんななか、ここ２年で台頭したのは、昨年の世界王者で今大会の２連覇を狙うビクター・アクセルセンだ。そして桃田と世界選手権の決勝で戦った石宇奇（シー・ユーチ）という新しい顔も登場。この３人が若き獅子として日本の王座を獲りにかかる。桃田が順当に勝ち進めば、アクセルセンとは準決勝、石宇奇とは決勝で当たる。

だが、風格を漂わせ始めたとはいえ、３人が簡単に勝てるほど世界は甘くない。

８月末のアジア大会で桃田は３回戦、石宇奇は２回戦で散っている。代わりに存在を世に知らしめたのは、アジア大会優勝のヨナタン・クリスティや３位のアンソニー・シニスカ・ギンティング（ともにインドネシア）、桃田と同い年の西本拳太だ。これまでは16強や８強クラスだったが、アジア大会でのメダル獲得で一皮むけた。

じつは今大会でおもしろいのは、石宇奇以外、いま挙げた選手が全員上の山に固まっていることだ。さらにここには、若手の壁になり続けている林丹も加わって初戦から激戦が繰り広げられそうだ。

石宇奇のいる下の山からは、謝龍ほか、元世界ランク１位の孫完虎（ソン・ワンホ）、インドのエース・スリカンス・Kも虎視眈々と優勝を狙っている。

このように世代交代が大きく進んでいるなか、絶対王者の地位を獲得するのは誰か。そこが今大会の最大の見どころとなる。

世界選手権&スーパーシリーズ&ワールドツアー優勝者

■2017年　（17年9月～18年8月）

10月	デンマークオープン*	スリカンス・K（インド）
10月	フランスオープン	スリカンス・K（インド）
11月	中国オープン*	謝龍（中国）
11月	ホンコンチャイナオープン	リー・チョンウェイ（マレーシア）
12月	スーパーシリーズファイナルズ	ビクター・アクセルセン（デンマーク）

■2018年

1月	マレーシアマスターズ（Super500）	ビクター・アクセルセン（デンマーク）
1月	インドネシアマスターズ（Super500）	アンソニー・シニスカ・ギンティング
1月	インドオープン（Super500）	石宇奇（中国）
3月	全英選手権（Super1000）	石宇奇（中国）
6月	マレーシアオープン（Super750）	リー・チョンウェイ（マレーシア）
7月	インドネシアオープン（Super1000）	桃田賢斗（日本）
7月	タイオープン（Super500）	常山幹太（日本）
7月	シンガポールオープン（Super500）	周天成（チャイニーズ・タイペイ）
8月	世界選手権	桃田賢斗（日本）

*印はプレミア大会。2017年はスーパーシリーズ、18年はワールドツアー

BWF世界ランキング（8月23日付）

1	ビクター・アクセルセン（デンマーク）
2	石宇奇（中国）
3	リー・チョンウェイ（マレーシア）
4	桃田賢斗（日本）
5	孫完虎（韓国）
6	周天成（チャイニーズ・タイペイ）
7	謝龍（中国）
8	スリカンス・K（インド）
9	伍家朗（ホンコンチャイナ）
10	西本拳太（日本）
11	H.S.プラノイ（インド）
12	アンソニー・シニスカ・ギンティング（インドネシア）
13	トミー・スギアルト（インドネシア）
14	林丹（中国）
15	ヨナタン・クリスティ（インドネシア）
19	常山幹太（日本）

再春館製薬所は、これからも自然を守る取り組みを続け、スポーツに文化に頑張る人たちを支援するなど、私たちにできることを地道に続けてまいります。



自分たちで使う電気は、100%自分たちの手で

自然の恵みをいただいて、ものづくりをしている会社として、環境に負荷の少ない自然のエネルギーを活用したい。地球温暖化などにより環境保全の動きが高まる中、2001年より工場の屋根にソーラーパネルを掲げ、本社屋、近隣の遊休地、西原村の再春館パークと規模を広げてきた太陽光発電設備「太陽の畑」が完成しました。

13年かけようやく夢が叶い、再春館ヒルトップの年間使用電力の100%をすべて自前でつくり出せるようになりました。



次の世代に熊本の豊かな自然を受けついでいくために

生き物や自然に触れる機会が少なくなっている子どもたちに、命の尊さ、環境を守ることの大切さを学んでほしいと願い、再春館「一本の木財団」では環境教育活動に取り組んでおり、天草の干潟や南阿蘇の草原で観察会を開催しました。おっかなびっくり魚や貝に触ったり、草や花の名前を教えてもらったり、目をきらきらと輝かせて、子どもたちがふるさとの自然とふれあい、楽しみながら体験している姿がとても印象的でした。



熊本の宝、名門バドミントン部を守り抜く

前身のNEC九州から28年にわたって活動を続けてきた「ルネサス バドミントン部」が廃部の危機に。なんとかならないかとのご相談に、ここは熊本の力でなんとかしなければ、日本屈指の名門チームの灯を消してはならない。との想いから引き受けを決めました。

チーム丸ごとの移籍は過去に例がなかったようで、2015年4月からは「くまもと 再春館製薬所 バドミントンチーム」として新たな飛躍に向け活動を開始しました。地元熊本のチームへの応援を、どうぞよろしくお願いいたします。


第二空港線

万日山

熊本の「玄関口」を花いっぱいにしておもてなし

九州新幹線ホームから見える万日山、空港から市内へ向かう第二空港線は、県外の方が最初に目にされる熊本の風景。しかしそこはツタやカズラで荒れ放題の雑木林ばかりでした。このままではいけないと、3年がかりで万日山に522本の桜を植樹。かねてからお願いされていた第二空港線も、社員たちの手で草を刈り、雑木を払って、桜やツツジなどを植えました。再び雑草が生い茂ることのないように、100名を超える社員が空港線沿線の草とりに大汗をかきました。毎年の花の時季を、どうぞお楽しみに。

自然の力を、人の力に。

再春館製薬所

WOMEN'S SINGLES
女子シングルス

THE GREATEST BATTLE OF MEDALISTS!

メダリストたちの絢爛（けんらん）なバトル。

リオ五輪、世界選手権のメダリストが集結する女子シングルス。
高い技術で世界に並び立つ日本がどう対抗するかに注目だ。



山口 茜
やまぐち・あかね

YAMAGUCHI Akane

（日本）

1997年6月6日（21歳）／156cm55kg／右利き
再春館製薬所／福井県出身／勝山南部中ー勝山高

RECORDS

'18アジア大会3位
'18世界選手権3位
'18全英選手権準優勝
'17スーパーシリーズファイナルズ優勝
'16リオ五輪8強
'13ヨネックスオープンジャパン優勝

REMARKS

小柄ながら相手にリズムを掴ませない配球力と、床ぎりぎりの球にもねばって何度も跳びつくガッツが持ち味。今年4月にわずか1週間だけだったが、目標の世界ランク1位にも到達。着々と強さを増している日本のエースだ。

WOMEN'S SINGLES
女子シングルス

キャロリーナ・マリン
Carolina MARIN

（スペイン）

1993年6月15日（25歳）
172cm62kg／左利き

RECORDS
'14'15'18世界選手権優勝
'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン優勝
'16リオ五輪金メダル
'15全英選手権優勝

REMARKS
母国に同等の練習相手がいないなか、強い意志で五輪優勝と３度の世界選手権Vを達成。闘志を燃え上がらせながら打つスマッシュには一撃必殺の威力がある。今大会では２連覇がかかる。

プサルラ・V・シンドゥ
PUSARLA V. Sindhu

（インド）

1995年7月5日（23歳）
179cm65kg／右利き

RECORDS
'18アジア大会準優勝
'17'18世界選手権準優勝
'16リオ五輪銀メダル

REMARKS
リオ五輪で突如ブレイクし、銀メダルを獲得。伸びやかな肢体を生かした高い打点からのスマッシュ、カットは高いエース率を誇る。あと残る野望は大舞台での「金」で、目標に向かい疾走中だ。

奥原希望 おくはら・のぞみ
OKUHARA Nozomi

（日本）

1995年3月13日（23歳）
156cm51kg／右利き
日本ユニシス／長野県出身
仁科台中ー大宮東高
ー日本ウェルネス大

RECORDS
'17世界選手権優勝
'16リオ五輪銅メダル
'16全英選手権優勝
'15ヨネックスオープンジャパン優勝
'15スーパーシリーズファイナルズ優勝

REMARKS
対戦相手を緻密に研究し、いかに長所をつぶせるか正確に計算して戦う。それでいて、とことんねばる姿勢は見る者の心を打つ。今大会は3年ぶりVを飾り存在感を示したい。



戴資穎 タイ・ツーイン
TAI Tzu Ying

（チャイニーズ・タイペイ）
1994年6月20日（24歳）
162cm57kg／右利き

RECORDS
'18アジア大会優勝／'17'18全英選手権優勝
'14'16スーパーシリーズファイナルズ優勝

REMARKS
今年、Super500以上のワールドツアーで最多の４勝を挙げ、目下世界ランク１位。攻撃力が飛び抜けているわけではないが、戦況に応じ打球を様々に変えていく様子はまるでマジックだ。



ラチャノック・インタノン
Ratchanok INTANON

（タイ）
1995年2月5日（23歳）
169cm59kg／右利き

RECORDS
'17 デンマークオープン優勝
'13世界選手権優勝
'09～'11世界ジュニア選手権優勝

REMARKS
史上最年少の18歳で世界選手権優勝を達成。その後、ビッグタイトルとは縁がないが、フットワークの俊敏さと、鋭角なカットで上位常連。精神力の強さも大したものだ。



陳雨菲 チェン・ユーフェイ
CHEN Yufei

（中国）
1998年3月1日（20歳）
171cm／右利き

RECORDS
'18インドネシアオープン準優勝
'17世界選手権3位
'16世界ジュニア選手権優勝

REMARKS
明るい笑顔によく似合う軽やかなフットワークを持ち、シャトルを捕えたらハチのように鋭く突き刺す。中国のエースの座を確保しつつあり、王朝復活をめざしている。



髙橋沙也加 たかはし・さやか
TAKAHASHI Sayaka

（日本）
1992年7月29日（26歳）
168cm／左利き
日本ユニシス／奈良県出身
和合中―高岡西高―パナソニック

RECORDS
'18秋田マスターズ優勝／'18シンガポールオープン優勝
'18スイスオープン優勝

REMARKS
ドライブやドリブンクリアーを駆使し、速いテンポでラリーを組み立てるアタッカー。一度、リズムが崩れると脆かったが、つなぎ球の強化で辛抱強さが増したのが好調の理由だ。



佐藤冴香 さとう・さやか
SATO Sayaka

（日本）
1991年3月29日（27歳）
171cm67kg／左利き
ヨネックス／宮城県出身
仙台第一中―常盤木学園高―日体大

RECORDS
'17インドネシアオープン優勝／'16全日本総合優勝
'12ロンドン五輪16強

REMARKS
バズーカ砲のようなスマッシュでラリーを断ちきるサウスポー。レシーブからの展開も巧みさを増し、ラリーに変化がつくようになった。豪快さだけでない、新生・佐藤も見物だ。

展望●PREVIEW

リオ五輪&世界選手権のメダリストが来日 山口と奥原が攻略しにかかる

リオ五輪、そして８月の世界選手権でメダルを手にした超人たちが一人も欠くことなく集結する豪華な顔ぶれになった。彼女たちが見据えるのは、来年、５月から始まる東京五輪出場権レースでのシード権獲得だ。2020年の戦いに向けた戦いはすでに始まっており、真剣勝負が約束されている。

注目度が高いのは、リオ五輪や世界選手権のメダリストたち。リオの金メダリストで、今夏、三度目の世界女王になったキャロリーナ・マリン、同銀メダルのプサルラ・V・シンドゥ、そして世界選手権銅メダルの山口茜、リオ銅＆17年世界女王の奥原希望だ。プサルラ以外、今大会では４人が２度目のVをねらう。

４選手の実力だが、かなり拮抗している。８月26日現在、マリンVSプサルラはマリンが７勝６敗、プサルラVS奥原は、互いに６勝６敗、山口VSマリンは互いに５勝５敗といったように、誰がどう当たっても白熱した試合になりそうだ。マリンやプサルラの破壊力に対し、頭脳派の日本がどう対抗するかに注目してほしい。

さらに今年はこの４人に加えておもしろい存在が加わった。世界ランク1位の戴資穎（タイ・ツーイン）が２年ぶりに来日する。この１年で最多の６勝を挙げた24歳はアジア大会で優勝したばかり。技術の引き出しが多く、日本の朴柱奉ヘッドコーチが「いまもっとも警戒すべき選手」と評価する実力者だ。順当に進めば、準々決勝で奥原と当たる。

この５人と肩を並べるのが、スタミナあふれるラチャノック・インタノン。そして中国の二枚看板、陳雨菲（チェン・ユーフェイ）と何冰嬌（ヘ・ビンジャオ）だ。20歳＆21歳と若いだけに立ち向かうファイティング・スピリットに溢れている。

日本からは髙橋沙也加、佐藤冴香、大堀彩らが参戦。東京五輪出場を目指す３人は、まずは準々決勝以上を確保したいところ。山口、奥原に接近する戦いができて初めて夢に近づける。

世界選手権&スーパーシリーズ&ワールドツアー優勝者

■2017年（17年9月～18年8月）

10月	デンマークオープン*	ラチャノック・インタノン（タイ）
10月	フランスオープン	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
11月	中国オープン*	山口茜（日本）
11月	ホンコンチャイナオープン	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
12月	スーパーシリーズファイナルズ	山口茜（日本）

■2018年

1月	マレーシアマスターズ（Super500）	ラチャノック・インタノン（タイ）
1月	インドネシアマスターズ（Super500）	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
1月	インドオープン（Super500）	ツァン・ベイウェン（アメリカ）
3月	全英選手権（Super1000）	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
6月	マレーシアオープン（Super750）	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
7月	インドネシアオープン（Super1000）	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
7月	タイオープン（Super500）	奥原希望（日本）
7月	シンガポールオープン（Super500）	髙橋沙也加（日本）
8月	世界選手権	キャロリーナ・マリン（スペイン）

*印はプレミア大会。2017年はスーパーシリーズ、18年はワールドツアー

BWF世界ランキング（8月23日付）

1	戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
2	山口茜（日本）
3	プサルラ・V・シンドゥ（インド）
4	ラチャノック・インタノン（タイ）
5	陳雨菲（中国）
6	キャロリーナ・マリン（スペイン）
7	何冰嬌（中国）
8	奥原希望（日本）
9	成池鉉（韓国）
10	サイナ・ネワル（インド）
11	ニッチャオン・ジンダポル（タイ）
12	ツァン・ベイウェン（アメリカ）
13	髙橋沙也加（日本）
14	高昉潔（中国）
15	ミシェル・リー（カナダ）
16	佐藤冴香（日本）

DAIHATSU × Badminton

ダイハツはバドミントン

小椋 久美子さんインタビュー

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

バドミントン界を牽引する日本人選手たち

～ジャパンオープン2018に向けて小椋久美子さんが注目する選手とは～



今年で 37 回目の開催となるジャパンオープンは、世界バドミントン協会（BWF）公認の国際大会。今回からBWFワールドツアー「スーパー 750」となり、賞金総額も 700,000 ドルへ倍増し、世界ランク32 位以内の選手のみが出場する世界有数の大会となります。会場は 2020 年の東京オリンピックのバドミントン競技会場となる「武蔵野の森総合スポーツプラザ」へと移り、TOKYO2020 を見据える世界のバドミントンプレーヤーたちからも、注目される大会のうちの1つです。そこで、オリンピックへの出場経験もお持ちの小椋久美子さんに、ジャパンオープンの魅力と、今大会で活躍が期待される選手、そしてこれから日本バドミントン界を担う日本人選手たちについて語っていただきました。

スケールアップしたジャパンオープンは、ここに注目！

今年からバドミントンの国際大会のランキングが大きく変わって、ジャパンオープンはBWFワールドツアー「スーパー750」というレベルの、世界有数の国際大会になります。世界ランキング上位32位以内の選手しか出場できなくなり、自国開催である日本人選手たちにとっても出場が難しい大会になりました。逆にランキング上位選手たちは出場義務があるので、トップレベルの選手たちは必ず出てきます。そういう意味では見応えのある大会になるでしょう。

また今年から会場が「武蔵野の森総合スポーツプラザ」になります。ここは2020年の東京オリンピックの会場となる場所なので、世界中の選手たちがこのコートでの試合経験を積みたいと思っているはずです。日本人選手たちも、あまりプレーしたことがないらしいので、この大会で会場の雰囲気をつかみたいと思っているでしょう。実は私は、先日メインアリーナでプレーする機会があったのですが、壁面が黒く、シャトルが見えやすくて、とても打ちやすかったです。また天井までの高さもある会場なので、観客席からも試合が見やすいと思います。



©Nippon Badminton Association
撮影：北川 外志廣

今年のジャパンオープン、小椋さんが注目するこの選手！

今大会一番の注目は、何と言っても男子シングルスの桃田賢斗選手でしょう。今年はさまざまな大会で結果を出していますが、ブランク期間を経て、より一層成長しているという実感がありますね。元々センスも実力もある選手ですが、特にレシーブが良くなっていると思います。攻撃につながるレシーブがしっかりとできていて、フットワークのブレもなく、体の芯もしっかりしている。実力に加えて、最近の活躍で自信が加わっているように思えますね。日本のファンも国内の大きな大会で彼の優勝を見たいと思っているはずなので、桃田選手にはぜひ頑張って欲しいですね。

女子シングルスでは、山口茜選手と奥原希望選手の二人に注目せざるを得ません。山口選手は良い時は手を付けられないくらいのプレーをする選手ですし、センスの良さやトリッキーなショットを持っているので、序盤からゲームの主導権を取っていけばとても強い選手です。また山口選手自身も今大会は相性の良い大会だと言っているので、かなり気合いを入れて出てくると思います。

奥原選手は、先日行われた「タイオープン2018」でも優勝しましたし、今大会でも調子を上げて臨んでくると思います。リオ五輪では山口選手と直接対決しましたが、今大会でもこの二人の再戦が見られるかもしれません。

男子ダブルスでは、園田啓悟選手と嘉村健士選手の「ソノカムペア」ですね。ここ数大会、ゲームを作るのが上手くなっています。元々低空戦が得意なペアなので、主導権を取っていけば、優勝の可能性も高いと思います。

女子ダブルスは、髙橋礼華選手と松友美佐紀選手の「タカマツペア」、そして福島由紀選手と廣田彩花選手の「フクヒロペア」の二組は、国際大会での経験も豊富で、勝負処も心得ています。

それにもちろん、世界選手権で見事金メダルを獲った永原和可那選手と松本麻佑選手のペアにも注目です。

今一番勢いに乗っていると思いますし、世界を制した完全なる攻撃型ペアのプレーを体感してほしいと思います。

混合ダブルスでは、渡辺勇大選手と東野有紗選手のペアに注目です。全英オープンでの優勝という日本人初の快挙を達成していますし、とにかく大舞台に強いペアです。混合ダブルスは、女子が手を出さないと勝てないといわれるのですが、前衛の東野選手は、力強いジャンピングスマッシュなども得意とする野性的なプレーヤーで、その積極的なプレーは相手に恐れられるほどです。

東野選手の気合いと渡辺選手のテクニックが上手く噛み合えば、今大会でも十分に優勝を狙えるでしょう。

Light you up
DAIHATSU

を応援しています

世界の強豪選手にも注目！

もちろんジャパンオープンは国際大会なので、世界からも強豪が集まってきます。全員がハイレベルなプレーヤーなのですが、マレーシアでは、ゴー・Vシェムとタン・ウィーキョンの男子ダブルスペアに注目です。リオ五輪の銀メダリストですが、最近は少しランキングを下げていました。しかし勢いに乗ると手が付けられないペアなので、「ソノカムペア」にとって手強いライバルとなるでしょう。
また男子ダブルスといえば、昨年優勝したマルクス・フェルナルディ・ギデオンとケビン・サンジャヤ・スカムルジョのインドネシアのペアにも注目です。二人とも身長が低い方なのですが、テクニシャンでテンポの速い試合運びをします。特にケビンのプレーは面白いので、ぜひ会場で見て欲しい選手です。
女子ダブルスでは、同じくインドネシアのグレイシア・ポリーとアプリアニ・ラハユのペアが優勝候補でしょう。攻撃型のスタイルのペアで、インドネシアが得意とする低空戦で早いプレーを仕掛けてきます。「タカマツペア」をはじめ、日本の女子ダブルスはこのペアを意識しているはずです。

大会会場でお会いしましょう！

とにかく今年のジャパンオープンは、大会のグレードアップによる出場選手のハイレベル化と、東京オリンピックと同じ「武蔵野の森総合スポーツプラザ」で開催される初の国際大会ということで、世界から注目を浴びる大会です。こんなレベルの高い試合を日本で見られるのはこの大会しかないので、ファンの方にはぜひ会場に足を運んでいただき、世界レベルの戦いを生で見て欲しいと思います。特に感じて欲しいのは、圧倒的なスピード感とシャトルの音。会場では、テレビの画面からでは感じられない立体的な臨場感を楽しむことができるはずです。

もちろん私も会場に駆けつけますので、皆さん一緒に日本人選手たちを応援しましょう！！



さらに詳しい情報は、ダイハツ公式バドミントンサイトへ　DAIHATSU-BADMINTON.COM　http://daihatsu-badminton.com/ja/

ダイハツのバドミントン応援活動

ダイハツは、輝いたライフスタイルと軽やかな気持ちを提供します。
私たちのクルマをたくさんのお客様に乗って頂いている日本で、インドネシアで、マレーシアで、
バドミントンを通した取り組みが広がっています。どんな人にでも、この素晴らしいスポーツを楽しんでほしいから。
ラケットとシャトルが、感動を生む、絆をつくる。バドミントン日本代表、障がい者バドミントン日本代表へのサポートから、
全国小学生ABC大会、各地で開催されるイベントまで。
ダイハツは今まで以上にバドミントンを盛り上げ、人々に新しい輝きを与えていきます。

DAIHATSU-BADMINTON

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018 BADMINTON CHAMPIONSHIPS

DAIHATSU INDONESIA MASTERS 2018

PERODUA MALAYSIA MASTERS 2018 presented by DAIHATSU

DAIHATSU 第19回 全国小学生 ABCバドミントン大会

ダイハツ全国小学生ＡＢＣバドミントン大会とは公益財団法人日本バドミントン協会が主催する、小学生を対象とした、年に一度開催されるバドミントンの全国大会です。オリンピックに出場経験のある髙橋礼華選手や松友美佐紀選手などが過去に優勝しており、トッププレイヤーへの登竜門として知られています。ダイハツでは47都道府県予選会、全国大会ともに、参加選手はもちろん、応援に来た来場者に、ドリンクや、応援グッズの配布、また愛車の日常点検を無料で実施しています。今後もバドミントン界の発展に向けて、次世代を担う若年層に対するサポート活動の一環として、本大会に参加する児童とその保護者をサポートする活動に取り組んで参ります。



パラバドミントンも全力で応援しています！

ダイハツはパラバドミントンの普及・発展にも力を入れています。

HULIC・DAIHATSU JAPAN Para-Badminton International 2018

DAIHATSU 日本障がい者バドミントン選手権大会

【ダイハツ所属選手紹介】

福家 育美 Ikumi Fuke　パラバドミントン日本代表（強化指定選手Ｓ・WH１クラス）

所属／ダイハツ工業株式会社

メッセージ／私は、二分脊椎という病気で3歳の頃から車いすで生活をしています。自分の障がいを受け入れられない時期もありましたが、スポーツと出会えたことで、車いすの人生も悪くないと思えるようになりました。まだまだ競技人口は少ないので、１人でも多くの方にパラバドミントンを知って頂けたら嬉しいです。



プロフィール／幼い頃から「パラリンピックで金メダルを獲る」ことが夢。車いすバドミントン競技を始めて2年半後に日本代表として国際大会に出場。

主な経歴／2017年 Peru Para-Badminton International 2017　シングルス：優勝/ダブルス：優勝
2017年 USA Para-Badminton International 2017　シングルス：3位/ダブルス：優勝
2017年 DAIHATSU Japan Para-Badminton International 2017　シングルス：優勝/ダブルス：優勝
2018年 Spanish Para-Badminton International 2018　ダブルス：準優勝
2018年 THAILAND PARA-BADMINTON INTERNATIONAL 2018　シングルス：準優勝
2018年 Brazil Para-Badminton International 2018　シングルス：優勝/ダブルス：優勝

TOTAL
QUARTZ
ENGINE OIL

卓越した
パフォーマンス

TOTAL
Committed to Better Energy



TOTAL | BWF

TITLE SPONSOR

BWF WORLD CHAMPIONSHIPS
BWF THOMAS AND UBER CUPS
BWF SUDIRMAN CUP

バドミントンコート上での勝利への追求は、卓越したパフォーマンスによって対戦相手に打ち勝つことです。それは、エイジ・レジスタンス・テクノロジー(ART*)を採用するトタルクォーツエンジンオイルが持つ優れたパフォーマンスと相通じるものがあります。
愛車のエンジンをいつまでも若々しく。

*ART: トタルのアンチエイジングソリューション技術

total-lub.jp TotalJapan

MEN'S DOUBLES
男子ダブルス

BRAVE MEN OVERCOME ADVERSITY!

逆境を越えていく猛者たち。

逆転に次ぐ逆転の接戦を制した者が頂点に立てる男子ダブルス。
スピードとパワーで瀬戸際を切り抜けていく男たちの戦いに括目せよ。

マルクス・F・ギデオン ＆ ケビン・S・スカムルヨ
Marcus Fernaldi GIDEON & Kevin Sanjaya SUKAMUUO



（インドネシア）
ギデオン（右）／1991年3月9日（27歳）
168cm70kg／右利き
スカムルヨ／1995年8月2日（22歳）
170cm55kg／右利き

RECORDS
'18アジア大会優勝
'17'18全英選手権優勝
'17スーパーシリーズファイナルズ優勝
'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン優勝

REMARKS
スピード＆パワー！　そして信じられないフェイントの連続！　いま世界で一番エキサイティングなダブルスを堪能させてくれる野性味あふれるコンビ。世界選手権の優勝こそ逃したが、この1年で驚異の7勝を挙げた世界を席巻するペアだ。

MEN'S DOUBLES
男子ダブルス



園田啓悟 & 嘉村健士
そのだ・けいご　かむら・たけし
SONODA Keigo & KAMURA Takeshi

（日本）
園田（左）／1990年2月20日（28歳）
169cm70kg／右利き
トナミ運輸／熊本県出身
八代第三中—八代東高—くまもと八代YKK AP
嘉村／1990年2月14日（28歳）
169cm66kg／右利き
トナミ運輸／佐賀県出身
唐津第一中—八代東高—早稲田大

RECORDS
'18世界選手権準優勝／'18マレーシアオープン優勝
'16スーパーシリーズファイナルズ準優勝／'16ヨネックスオープンジャパン3位

REMARKS
とことんロブを上げない「ノーロブ」スタイルで８月の世界選手権で銀メダルを獲得。2016年11月に世界トップ10入りをし現在は３位。２人で畳み掛けるドライブ戦ならどこにも負けないのが強みだ。



井上拓斗 & 金子祐樹
いのうえ・たくと　かねこ・ゆうき
INOUE Takuto & KANEKO Yuki

（日本）
井上（前）／1995年2月26日（23歳）／163cm63kg／右利き
日本ユニシス／佐賀県出身／埼玉栄中—埼玉栄高
金子／1994年7月22日（24歳）／179cm70kg／左利き
日本ユニシス／埼玉県出身／埼玉栄中—埼玉栄高

RECORDS
'18インドネシアオープン準優勝／'18ドイツオープン優勝
'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン準優勝

REMARKS
昨年の本大会で日本男子複として初の決勝戦へ。コミュニケーションを密にすることでコンビ力が増し一皮むけた。見据えるのはもちろん昨年以上の結果だ。



李俊慧 & 劉雨辰
リー・ジュンホゥイ　リウ・ユチェン
LI Junhui & LIU Yuchen

（中国）
リー（右）／1995年5月10日（23歳）
195cm85kg／右利き
リウ／1995年7月25日（23歳）
193cm90kg／右利き

RECORDS
'18世界選手権優勝
'18アジア選手権優勝
'17全英選手権準優勝
'16ヨネックスオープンジャパン優勝

REMARKS
今年８月、世界王者となり、すっかり貫録を漂わせるようになった。195cm＆193cmという高さからは考えにくい俊敏さを備え、２年ぶり２回目の優勝を見据える。



陳宏麟 & 王齊麟
チェン・フンリン　ワン・チーリン
CHEN Hung Ling & WANG Chi-Lin

（チャイニーズ・タイペイ）
陳（右）／1986年2月10日（32歳）
177cm72kg／右利き
王／1995年1月18日（23歳）
188cm84kg／右利き

RECORDS
'18世界選手権3位
'18全英選手権8強

REMARKS
９歳差ながら、組んでもうすぐ丸４年。トップ10に定着してきたのはここ１年で、陳が盛り上げ役に徹し、若い王に気持ちよく決めさせる。王のガッツポーズがよく出ているときは強い。



マシアス・ボー & カルステン・モゲンセン

Mathias BOE & Carsten MOGENSEN

（デンマーク）

ボー（右）／1980年7月11日（38歳）
185cm75kg／左利き
モゲンセン／1983年7月24日（35歳）
188cm75kg／右利き



RECORDS

'18スイスオープン優勝／'17スーパーシリーズファイナルズ3位
'15全英選手権優勝／'12ロンドン五輪銀メダル

REMARKS

打倒アジアを掲げ、最年長になったいまもチャレンジを続ける欧州の雄。長いリーチでことごとく球を止めるさまはまるで壁。攻撃に入れば、角度あるスマッシュで襲いかかる。

ⓒ Badmintonphoto

展望◉PREVIEW

園田&嘉村が男子初Vに接近!
群雄割拠の混戦を制するのはどのペアか

「日本の男子もやるんだってことを僕らが見せたいんです」

以前からこう繰り返してきた園田啓悟／嘉村健士が本拠地・日本で存在感を示せるのではないか、そんな期待が高まっている。

“ソノカム”が日本男子の初優勝に急接近している理由は、世界選手権で銀メダルを獲得しただけでなく、速攻に次ぐ速攻で世界ランク1位に駆け上がったギデオン／スカムルヨに対抗できるようになっていることが大きい。数年前は「スカムルヨが仕掛けてくる球に対応できなくて」と嘆いていた嘉村だが、今はトリッキーショットにしっかり対応し、得意のドライブ戦につなげている。もし、この2ペアが決勝で当たれば、世界最速のスピード戦になる。

ただ、そんな園田／嘉村が倒さなければならない難敵は多い。なんといっても強いのは、順当に行けば準決勝で当たる李俊慧（リー・ジュンホゥイ）／劉雨辰（リウ・ユチェン）だ。195cm＆193cmから襲うスマッシュに加え、高さに似合わない意外な動きの速さもあり、世界選手権で園田／嘉村は優勝を阻まれた。今大会の優勝候補の一つだ。

このほか、園田／嘉村が当たりそうなのは、デンマークの三番手ラスムセン／アストルプか、世界選手権銅メダルの陳宏麟（チェン・ワンリン）／王斉麟（ワン・チーリン）になりそうだ。

また上位へ上がってきそうペアとして忘れてはならないのは、昨年、決勝進出を果たした井上拓斗／金子祐樹だ。準々決勝に進んだリオ五輪・金メダルの張楠（ツァンナン）と若い劉成（リュウ・チェン）のペアをしっかり下したい。

ベテラン勢では、デンマークが曲者ぶりを発揮しそう。38歳＆35歳ペアのボー／モゲンセン、30歳ペアのピーターセン／コールディングが熟練の技でアジアのスピードをつぶしにかかる。31歳になった遠藤と21歳の渡辺のペアにも大きな声援を送ってほしい。

世界選手権&スーパーシリーズ&ワールドツアー優勝者

■2017年　（17年9月～18年8月）

10月	デンマークオープン*	劉成／張楠（中国）
10月	フランスオープン	李哲輝／李洋（チャイニーズ・タイペイ）
11月	中国オープン*	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
11月	ホンコンチャイナオープン	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
12月	スーパーシリーズファイナルズ	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）

■2018年

1月	マレーシアマスターズ（Super500）	アルフィアン／アルディアント（インドネシア）
1月	インドネシアマスターズ（Super500）	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
1月	インドオープン（Super500）	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
3月	全英選手権（Super1000）	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
6月	マレーシアオープン（Super750）	園田啓悟／嘉村健士（日本）
7月	インドネシアオープン（Super1000）	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
7月	タイオープン（Super500）	園田啓悟／嘉村健士（日本）
7月	シンガポールオープン（Super500）	アーサン／セティアワン（インドネシア）
8月	世界選手権	李俊慧／劉雨辰（中国）

*印はプレミア大会　※2017年はスーパーシリーズ、2018年はワールドツアー

BWF世界ランキング（8月23日付）

1	ギデオン／スカムルヨ（インドネシア）
2	李俊慧／劉雨辰（中国）
3	園田啓悟／嘉村健士（日本）
4	劉成／張楠（中国）
5	ボー／モゲンセン（デンマーク）
6	ピーターセン／コールディング（デンマーク）
7	井上拓斗／金子祐樹（日本）
8	アストルプ／ラスムセン（デンマーク）
9	アルフィアン／アルディアント（インドネシア）
10	陳宏麟／王斉麟（チャイニーズ・タイペイ）
11	ゴー／タン（マレーシア）
12	廖敏堃／蘇敬恆（チャイニーズ・タイペイ）
13	遠藤大由／渡辺勇大
14	イワノフ／ソゾノフ（ロシア）
15	李哲輝／李洋（チャイニーズ・タイペイ）
19	保木卓朗／小林優吾（日本）



400年の歴史を有する1万坪のホテルニューオータニ(東京)の日本庭園

THE NEW OTANI CLUB［ニューオータニクラブのご案内］

国内外のニューオータニグループホテルでご利用いただける、多彩な特典とより充実したサービスで
皆さまのホテルライフをサポートさせていただきます。

《特典例》

■会員専用クラブラウンジ［東京・幕張・大阪・札幌・湯沢(NASPA)・東京(大崎)・横浜・博多］　■ポイントプログラム
■宿泊［クイックチェックイン・レイトチェックアウトほか］　■レストラン［優待料金・個室利用特典ほか］
■婚礼特典　■各種フェア、イベント等の優先予約

《ニューオータニクラブのお問合せ・ご入会申し込みは》

ニューオータニクラブセンター事務局 0120-804408(10:00~18:00 日・祝日除く)

《グループホテル》東京 / 幕張 / 大阪 / 札幌 / 長岡 / 湯沢(湯沢・NASPA) / 東京(大崎) / 横浜 / 高岡 / 鳥取 / 博多 / 佐賀 / ホノルル / 北京
《アソシエイトホテル》新潟 / 金沢 / 近江八幡 / 熊本

ニューオータニホテルズのご予約・お問合せ(9:00~18:00) 0120-227021

The New Otani
ニューオータニホテルズ
www.newotani.co.jp

WOMEN'S DOUBLES
女子ダブルス

THE BATTLE FOR CROWN

「最強」の争奪戦。

活況に沸く日本女子ダブルス陣。まず世界と日本がぶつかり合う。
その先にはJAPAN同士の激しい戦いが待っている。

福島由紀 & 廣田彩花

ふくしま・ゆき　ひろた・さやか

FUKUSHIMA Yuki & HIROTA Sayaka

（日本）

福島（左）／1993年5月6日（25歳）
164cm56kg／右利き
岐阜トリッキーパンダース／熊本県出身
坂本中ー青森山田高ールネサスー再春館製薬所
廣田／1994年8月1日（24歳）
170cm61kg／右利き
岐阜トリッキーパンダース／熊本県出身
菊水中ー玉名女子高ールネサスー再春館製薬所



RECORDS

'17'18世界選手権準優勝／'18インドネシアオープン優勝
'17スーパーシリーズファイナルズ準優勝／'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン3位

REMARKS

昨年、日本A代表に選出され、８月には世界選手権の銀メダリストに輝いた。その後も成長は止まらず、今年７月、世界ランク１位に就いた。基本は福島が後ろ、廣田が前だが、激しく前後を入れ替わり、間髪入れない波状攻撃が持ち味だ。

WOMEN'S DOUBLES
女子ダブルス

松本麻佑 & 永原和可那
まつもと・まゆ　ながはら・わかな
MATSUMOTO Mayu & NAGAHARA Wakana

（日本）
松本（右）／1995年8月7日（23歳）
177cm68kg／右利き
北都銀行／北海道出身
厚別南中ーとわの森三愛高
永原／1996年1月9日（22歳）
170cm61kg／右利き
北都銀行／北海道出身
芽室中ー青森山田高

RECORDS
'18世界選手権優勝／'18インドネシアオープン準優勝
'18全英選手権3位

REMARKS
リザーブから世界選手権代表に滑り込み、髙橋　松友、福島／廣田を破り、日本の41年ぶり優勝を決めた。世界屈指の長身で、堅守が導く高い打点からの攻撃が圧巻だ。



陳清晨 & 賈一凡
チェン・チンチェン　ジア・イーファン
CHEN Qingchen & JIA Yi Fan

（中国）
陳（左）／1997年6月23日（21歳）
164cm65kg／右利き
賈／1997年6月29日（21歳）
175cm65kg／左利き

RECORDS
'18アジア大会優勝
'17世界選手権優勝

REMARKS
サウスポーの賈が後ろから豪快に仕掛けて、冷静な陳がネット前でフォロー。得意のトップ&バックを築くと、手をつけられない連続攻撃を繰り出す。日本ペアの最大のライバルだ。



グレシア・ポリー & アプリヤニ・ラハユ
Greysia POLII & Apriyani RAHAYU

（インドネシア）
ポリー（左）／1987年8月11日（31歳）
164cm57kg／右利き
ラハユ／1998年4月29日（20歳）
158cm60kg／右利き

RECORDS
'18アジア大会3位
'18世界選手権3位
'18インドオープン優勝

REMARKS
経験豊富なポリーを避け、若いラハユに球が集まりがちだが、しっかりした守りで逆にチャンスを作る。インドネシアらしいノーロブ展開が得意で、躍動感のあるペアだ。



米元小春 & 田中志穂
よねもと・こはる　たなか・しほ
YONEMOTO Koharu & TANAKA Shiho

（日本）
米元（右）／1990年12月7日（27歳）
166cm54kg／右利き
北都銀行／広島県出身
翠町中ー青森山田高ーパナソニック
田中／1992年9月5日（26歳）
161cm／右利き
北都銀行／熊本県出身
坂本中ー青森山田高ー法政大

RECORDS
'18世界選手権3位
'17スーパーシリーズファイナルズ優勝

REMARKS
ここ1年ですさまじく躍進し、昨年末、スーパーシリーズファイナルズでV。身軽な米元が前に飛び出してはゲームを組み立て、仕事人・田中のドロップを引き出す。



髙橋礼華 & 松友美佐紀

たかはし・あやか　まつとも・みさき

TAKAHASHI Ayaka & MATSUTOMO Misaki

（日本）

髙橋（左）／1990年4月19日（28歳）
164cm61kg／右利き
日本ユニシス／奈良県出身
聖ウルスラ学院英智中―聖ウルスラ学院英智高
松友／1992年2月8日（26歳）
159cm51kg／右利き
日本ユニシス／徳島県出身
徳島中一聖ウルスラ学院英智高

RECORDS

'18アジア大会準優勝
'14'17ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン優勝
'17世界選手権3位
'16リオ五輪金メダル
'16全英選手権優勝

REMARKS

ネット前のレーダー役が松友で、後ろで打つのが髙橋。五輪金メダリストは一時、目標を見失ったというが、アジア大会ではしっかり銀メダルを獲得。ここでは2連覇3度目Vをめざす。

展望◉PREVIEW

最強・JAPANが受けて立つ!!
世界の包囲網を突破し日本連覇なるか!?

世界選手権で日の丸が3旗揚がったように、いま日本女子ダブルスは興隆のときを迎えている。

8月23日付の世界ランキングには、トップ10に福島由紀／廣田彩花（1位）、髙橋礼華／松友美佐紀（2位）、米元小春／田中志穂（5位）、松本麻佑／永原和可那（9位）と日本A代表の4組が名を連ねている。このあとにも櫻本絢子／髙畑祐紀子（12位）、福万尚子／與猶くるみ（15位）が控えており、日本の層の厚さは推して知るべしだ。いまではすっかり日本同士の戦いが、世界最高峰の戦いとなっている。多くのファンの注目は、このうち優勝に近いのはどのペアかということだろう。

組合せ的にいえば、恵まれた山に入ったのは福島／廣田だ。決勝に行くまで、日本A代表組と当たらない。準決勝で顔合わせするであろうポリー／ラハユはノーロブ展開が得意で怖い存在だが、ここを突破して、決勝で日本勢を待ち受けたいところだ。

一方、下の山は激戦となる。まず準々決勝で髙橋／松友と松本／永原が世界選手権の再戦を行う確率が高い。髙橋／松友はリオ五輪後、モチベーション維持に苦労しているが、アジア大会で銀メダルを獲得したように気持ちを勝利に向かって整えたときすがの力を出す。松本／永原の勢いとどちらが勝るか注目だ。

また米元／田中はアジア大会優勝の陳清晨（チェン・チンチェン）／賈一凡（ジア・イーファン）と準々決勝で当たるか。中国王朝再建の期待を寄せられた陳／賈は「勢いに乗ったら手をつけられない」というのが米元評。いかに波に乗せない配球をするかがポイントになりそうだ。ここを越えたら、おそらく髙橋／松友か、松本／永原が待っている。この山を勝ち抜いた日本ペアが、第1シードの福島／廣田と当たれば、日本の同国決戦は4年ぶり2回目の快挙となる。

世界選手権&スーパーシリーズ&ワールドツアー優勝者

■2017年　（17年9月～18年8月）

10月	デンマークオープン*	李紹希／申昇瑚（韓国）
10月	フランスオープン	ポリー／ラハユ（インドネシア）
11月	中国オープン*	陳清晨／賈一凡（中国）
11月	ホンコンチャイナオープン	陳清晨／賈一凡（中国）
12月	スーパーシリーズファイナルズ	米元小春／田中志穂（日本）

■2018年

1月	マレーシアマスターズ（Super500）	リター・ユール／ペダセン（デンマーク）
1月	インドネシアマスターズ（Super500）	髙橋礼華／松友美佐紀（日本）
1月	インドオープン（Super500）	ポリー／ラハユ（インドネシア）
3月	全英選手権（Super1000）	リター・ユール／ペダセン（デンマーク）
6月	マレーシアオープン（Super750）	髙橋礼華／松友美佐紀（日本）
7月	インドネシアオープン（Super1000）	福島由紀／廣田彩花（日本）
7月	タイオープン（Super500）	ポリー／ラハユ（インドネシア）
7月	シンガポールオープン（Super500）	櫻本絢子／髙畑祐紀子（日本）
8月	世界選手権	松本麻佑／永原和可那

*印はプレミア大会。2017年はスーパーシリーズ、18年はワールドツアー

BWF世界ランキング（8月23日付）

1	福島由紀／廣田彩花（日本）
2	髙橋礼華／松友美佐紀（日本）
3	陳清晨／賈一凡（中国）
4	ポリー／ラハユ（インドネシア）
5	米元小春／田中志穂（日本）
6	リター・ユール／ペダセン（デンマーク）
7	キティタラクル／プラジョンジャイ（タイ）
8	李紹希／申昇瑚（韓国）
9	松本麻佑／永原和可那
10	ハリス／プラディプタ（インドネシア）
11	杜玥／李茵暉（中国）
12	櫻本絢子／髙畑祐紀子（日本）
13	ガブリエラ・ストエヴァ／ステファニ・ストエヴァ（ブルガリア）
14	于小含／黄雅琼（中国）
15	福万尚子／與猶くるみ（日本）

UNISYS
日本ユニシスグループ

次の挑戦へ、
次の創造へ



世界制覇へ若い選手たちが挑戦と進化を続けるように。
日本ユニシスグループは、お客さまやパートナーと共に
社会課題を解決する企業として、
ビジネスエコシステムを創る中核となり、
デジタルトランスフォーメーション(DX)を加速していきます。

日本ユニシス
実業団バドミントン部

スマホで見られる
デジタルメディア
CLUB UNISYS
https://cu.unisys.co.jp/

Foresight in sight



©第24回世界バドミントン選手権大会公式　Copyright 2018 The Associated Press. All rights reserved.　写真:アフロ　AFP/アフロ　AFP or licensors

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

9.11 TUE – 9.16 SUN

日本人出場試合を中心に1回戦から決勝まで放送！

J SPORTSバドミントン放送スケジュール

※放送予定・形態は変更になる可能性があります。
最新の情報はJ SPORTSバドミントンHPにてご確認下さい。

9月	10月	11月	12月
◆スペインオープン ◆中国オープン ◆ジャパンオープン ◆韓国オープン	◆デンマークオープン ◆フランスオープン	◆マカオオープン ◆中国マスターズ ◆香港オープン	◆ワールドツアーファイナルズ ◆S/Jリーグ（12月～2月）

PC・スマホ・タブレットで見る

J SPORTS オンデマンド　いつでもどこでもバドミントンが見られる!

25歳以下はU25割で半額!
バドミントンパック　月額 1,800円(税抜) ▶ 900円(税抜)

J SPORTS オンデマンド　検索

J SPORTSは、BS放送（スカパー!）、
ケーブルテレビでご覧いただける
国内最大4チャンネルのスポーツテレビ局です。

J SPORTSカスタマーセンター
03-5500-3488　受付時間 午前10:00～午後6:00

www.jsports.co.jp

J SPORTS

MIXED DOUBLES
混合ダブルス

鄭思維 & 黄雅瓊
ジェン・シーウェイ　ファン・ヤチョン

ZHENG Siwei & HUANG Yaqiong

（中国）

鄭（後）／1997年2月26日（21歳）
175 cm70kg／右利き
黄／1994年2月28日（24歳）
166cm56kg／右利き

RECORDS

'18アジア大会優勝
'18世界選手権優勝
'17スーパーシリーズファイナルズ優勝

REMARKS

昨年11月に組み始め、瞬く間に世界ランク１位へ。これまで５勝を挙げ、世界＆アジア王者として日本にやってくる。可憐な容姿の黄雅瓊が、男子の豪打を前に出ながら打ち返す強気さが魅力だ。

VICTORY IS ACHIEVED BY COLLABORATION!

コンビ力で突破せよ。

女子がネット前、男子がコート後方とポジションが明確な混合ダブルス。
この陣形をどう崩すか、力を合わせての緻密な頭脳戦が繰り広げられる。



©Tang Shi

渡辺勇大 & 東野有紗

わたなべ・ゆうた　ひがしの・ありさ

WATANABE Yuta & HIGASHINO Arisa

（日本）

渡辺（左）／1997年6月13日（21歳）／167cm 56kg／左利き
日本ユニシス／東京都出身／富岡第一中ー富岡高
東野／1996年8月1日（22歳）／160cm51kg／右利き
日本ユニシス／北海道出身／富岡第一中ー富岡高

RECORDS

'18全英選手権優勝
'17全日本総合優勝
'14世界ジュニア選手権3位

REMARKS

伝統の全英選手権でシード４ペアを下し頂点に立った。女子の常識を覆すパワーの持ち主・東野と、連続攻撃ができる渡辺のペアは男子ダブルスのよう。もちろん優勝候補の一つだ。



©Tang Shi

鄧俊文 & 謝影雪

タン・チュンマン　ツェ・インスェット

TANG Chun Man & TSE Ying Suet

（ホンコンチャイナ）

鄧（左）／1995年3月20日（23歳）／178cm74 kg／左利き
謝／1991年11月9日（26歳）／166cm66kg／左利き

RECORDS

'18アジア大会準優勝
'18世界選手権3位
'18マレーシアマスターズ優勝
'17デンマークオープン優勝

REMARKS

何はともあれ、貴重な左＆左利きのプレーをご覧あれ。ローテーションも右利きとは反対。対策を立てづらく戸惑う相手の隙を突いて、相手のバック側に球を集めて点を荒稼ぎする。



©Badmintonphoto

トントウィ・アフマド & リリアナ・ナッチル

Tontowi AHMAD & Liliyana NATSIR

（インドネシア）

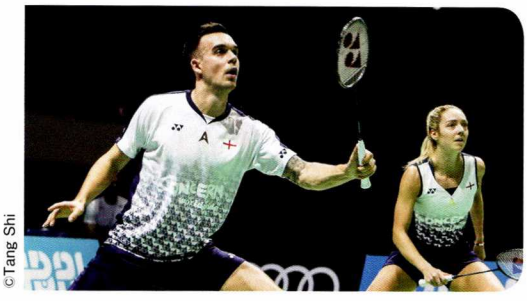
アフマド（後）／1987年7月18日（31歳）／178 cm75 kg／右利き
ナッチル／1985年9月9日（33歳）／168cm59kg／右利き

RECORDS

'16リオ五輪金メダル
'13'17世界選手権優勝
'12〜'14全英選手権優勝

REMARKS

金と銀の五輪メダルを持つナッチルは、男子の強打に物怖じしない強心臓の持ち主。アフマドは仕込まれた球を逃さずエースにするスマッシャー。息の合った熟練ペアだ。


©Tang Shi

クリス・アドコック & ガブリエル・アドコック

Chris ADCOCK & Gabrielle ADCOCK

（イングランド）

クリス（左）／1989年4月27日（29歳）／183cm79kg／左利き
ガブリエル／1990年9月30日（27歳）／167cm60kg／右利き

RECORDS

'17'18ヨーロッパ選手権優勝
'17世界選手権3位
'15スーパーシリーズファイナルズ優勝
'07世界ジュニア選手権準優勝

REMARKS

夫婦ならではのコンビネーションが光る。どちらがとるか迷うような場所でも、役割分担ができており穴が少ない。上位とは際どい勝負の連続で実力的には遜色ない。

展望◉PREVIEW

中国2強とリオ金メダリストがV候補 渡辺&東野の初優勝に期待

８月の世界選手権は中国が同国決戦を演じた。初優勝を飾ったのは、昨年11月に組み始め、デビュー戦の中国オープンから頂点に立った鄭思維（ジェン・シーウェイ）／黄雅瓊（ファン・ヤチョン）だ。銀メダルは2017年本大会優勝の王懿律（ワン・イルュ）／黄東萍（ファン・ドンピン）の手に。2018年大会は中国の２ペアが強さを増して、優勝に照準を合わせている状況だ。

では、中国が大会を席巻しそうなのかというと、そうではない。今年はリオ五輪の金メダリストで世界選手権を過去２度制したアフマド／ナッチルが参戦。地元で行われるアジア大会に専念するため、世界選手権の出場を控えたとされる２人が、初Vをねらう。順当なら鄭思維／黄雅瓊とは準々決勝で当たり、ベテランの円熟味を出した好勝負を演じてくれるはずだ。とくにメンタルの強いナッチルが男子のストレート球をひるまず跳ね返す姿は清々しく、ぜひ着目してほしい。

この３ペアに対抗しそうなペアは、日本にいる。21歳＆22歳の渡辺勇大／東野有紗は全英選手権で鄭思維／黄雅瓊をはじめ、シード４ペアを退ける見事な優勝を遂げた。混合ダブルスの専任コーチを得て、「ミックスの新しい考え方を吸収できている」という2人が、全英選手権と同じような戦い方ができれば、日本での頂点は夢ではない。

そしてユニークなのが左利き同士の鄧俊文（タン・チュンマン）／謝影雪（ツェ・インスェット）だろう。世界選手権で銅、アジア大会で銀とステップアップ中。このままいけば日本で優勝、となるかもしれない。

ヨーロッパからは、10代の頃からペアを組むクリス・アドコック／ガブリエル・アドコックがアジアの上位独占を阻みにかかる。いかにもヨーロッパらしいパワフルな攻撃が身上で、長いリーチで相手の返球をことごとくブロックする。欧州最強ペアとして意地を見せてくれそうだ。

世界選手権&スーパーシリーズ&ワールドツアー優勝者

（17年9月〜18年8月）

■2017年

10月	デンマークオープン＊	鄧俊文／謝影雪（ホンコンチャイナ）
10月	フランスオープン	アフマド／ナッチル（インドネシア）
11月	中国オープン＊	鄭思維／黄雅瓊（中国）
11月	ホンコンチャイナオープン	鄭思維／黄雅瓊（中国）
12月	スーパーシリーズファイナルズ	鄭思維／黄雅瓊（中国）

■2018年

1月	マレーシアマスターズ（Super500）	鄧俊文／謝影雪（ホンコンチャイナ）
1月	インドネシアマスターズ（Super500）	鄭思維／黄雅瓊（中国）
1月	インドオープン（Super500）	クリスチャンセン／ペダセン（デンマーク）
3月	全英選手権（Super1000）	渡辺勇大／東野有紗（日本）
6月	マレーシアオープン（Super750）	鄭思維／黄雅瓊（中国）
7月	インドネシアオープン（Super1000）	アフマド／ナッチル（インドネシア）
7月	タイオープン（Super500）	ファイザル／ウィジャジャ（インドネシア）
7月	シンガポールオープン（Super500）	ゴー／ライ（マレーシア）
8月	世界選手権	鄭思維／黄雅瓊（中国）

＊印はプレミア大会。2017年はスーパーシリーズ、18年はワールドツアー

BWF世界ランキング（8月23日付）

1	鄭思維／黄雅瓊（中国）
2	王懿律／黄東萍（中国）
3	アフマド／ナッチル（インドネシア）
4	鄧俊文／謝影雪（ホンコンチャイナ）
5	クリスチャンセン／ペダセン（デンマーク）
6	ゴー／ライ（マレーシア）
7	クリス・アドコック／ガブリエル・アドコック（イングランド）
8	ファイザル／ウィジャジャ（インドネシア）
9	チャン／ゴー（マレーシア）
10	何済霆／杜玥（中国）
11	エリス／スミス（イングランド）
12	張楠／李茵暉（中国）
13	王齊麟／李佳馨（ホンコンチャイナ）
14	渡辺勇大／東野有紗（日本）
15	プアヴァラヌクロー／タエラッタナチャイ（タイ）

CLOSE-UP
HIGH QUALITY OF YONEX



©Tang Shi

▲大会期間中、張った総数は約900本！



©T.KITAGAWA

▲世界選手権にはヨネックスがコートマットやネット、ポール(支柱)を提供

EVERYTHING – COMMUNICATION

対話を通じ生まれる高品質

8月、中国・南京市で開催された世界選手権。
選手が必ず通る会場の一角にその場所はあった。
『ヨネックス・ストリンギングチーム』の拠点ブースだ。

ここで様々な国にルーツを持つ張り師たちが
黙々と出場選手のストリングを張る。
ときには「新しいストリングよかったよ」とか
選手の様々な感想を耳にしながら。

実は、こんな何気ない会話からヨネックスの高品質は生まれる。
シャトルコックからコートマットにいたるまで
選手が何を求めているかを逃さずフィードバックする。
真剣勝負に何が必要かを知るからこそ、
ヨネックスの製品は選ばれ、進化し続ける—。

SHUTTLECOCK

選手が求める制球力を実現する『TOURNAMENT』



▶今年のトマス杯／ユーバー杯と世界選手権では、シャトルコックの中心に大会ロゴのシールが張られている

BWF(世界バドミントン連盟)が「グレード1」と位置付ける最高格式の大会は3つある。「トマス杯／ユーバー杯(男女別国別対抗戦)」、「スディルマン杯(男女混合国別対抗戦)」、「世界選手権」だ。ヨネックスは昨年3月、BWFと5年間のサプライヤー契約を結び、この3大会にコートマット、ネット、ポール(支柱)、そしてシャトルコック『TOURNAMENT』の提供をスタートした。

この決定をことのほか喜んだのは選手たちだ。羽根の軸がしっかりした『TOURNAMENT』なら、激しく打ったあとでも折れたりせず、そのまま繊細なヘアピンを思い通りに打てる。プレー中、羽根の劣化を気にせず、自分のプレーを出し切ることだけに集中できるのだ。

もちろん、8月の世界選手権でも『TOURNAMENT』が使用された。ここで日本は過去最高の6個のメダルを獲得。どの国よりこのシャトルコックに馴染んでいたことも、快挙を引き寄せた要因だったかもしれない。

STRINGING

最前線で選手の武器を仕上げる『ヨネックス・ストリンギングチーム』

『ヨネックス・ストリンギングチーム』は、世界各国のトップストリンガー1500名で構成される世界最大規模のプロ集団。豊富な知識と経験に裏打ちされた確かな技術を持ち、バドミントンはもちろん、テニスやソフトテニスの国際大会でトップ選手が求める上質な「張り」を提供している。

昨年、BWFと締結したサプライヤー契約には、実は用具だけでなく、『ヨネックス・ストリンギングチーム』によるストリンギングサービスの提供も含まれている。大会規模が大きくなれば持ちこまれるラケットは増え、8月の世界選手権では、もっとも多い日で200本以上の張り替えに対応した。ストリンガー1人あたり1日20本を張った計算だ。



©Tang Shi

そんな限られた時間のなかでもプロたちは選手の細かな要望に応える。張りの感覚がラケットによって異ならないよう、なるべく1人のストリンガーが同じ選手のストリングを張り続けるなどの配慮も。F1メカニックがドライバーの最高のパフォーマンスを引き出すためにピットで全力を尽くすように、ストリンギングチームも最前線で持てる技術、そして誇りをもラケットに注いでいるのだ。すべての選手が最高のプレーを出せるように祈りをこめて ―。

SHORT INTERVIEW

トップ選手が求める張りを熟知する
マーク・ローレンス(イングランド)



©Tang Shi

▼世界選手権の男子シングルスを制した桃田のストリングもここで張られた



▲マークの神がかり的な張りの姿は、公式サイト『ヨネックス・ストリンギングチーム』の動画で見られる

――多くの選手がストリングに求めることを教えてください。

「約25年前に比べると、ラケットの進化もあり、高いテンションを求める選手が増えています。強く張ることについて多くの議論はありますが、ストリンガーの立場からいうと、高いテンションは確実にコントロール性を上げ、技術、十分なスイングスピードを持つ選手なら、パワーも上げられるという見解です」

――ストリングに強いこだわりのある選手はいますか？

「バドミントン選手はテニス選手よりストリングに対し大らかですが、最近ですと、マシアス・ボー／カルステン・モゲンセン(デンマーク)は違いますね。どのストリンガーがどう張るかまで気にします。こうした要望に応えるためにも同じメンバーがストリングチームとして世界を回り、選手が安心できるサービスを提供することが重要です。信頼するストリンガーがいれば、自信を持って試合に臨めますから」

――最近のストリングの流行は何ですか？

「縦糸と横糸の仕様を変えたハイブリッド・ストリングですね。2016年に発売された『エアロバイト』がそう。縦糸はポリウレタンがコーティングされ球もちがよく、横糸は打ったとき、たわんだ縦糸が早く戻る素材を使っています。カットやヘアピンの質が上がるので人気となり、桃田賢斗(日本)、キャロリーナ・マリン(スペイン)、ビクター・アクセルセン(デンマーク)が使っています。主要大会で最も使用されている『BG80』に次いでトップ選手に人気があります」

――ストリンガーの喜びとは。

「ストリングを張る行為は極めて単調ですが、この仕事が与えてくれるものは大きい。この25年間、たくさんの人々と友情を深め、様々な国の文化に触れてきました。それに45年以上、愛好者としてプレーする私は、バドミントンに関わり、各年代の尊敬すべき選手たちにサービスを提供できることが喜びです。だから、決して中途半端な仕事はしないのです」

TONAMI

トナミ運輸株式会社　www.tonami.co.jp

さらなる高みへ。

突き刺す攻撃、
狙い定めたレシーブ、
緻密な駆け引き。
その精度を
磨き続けた者だけが、
一流を超えていく。

トナミ運輸は、
品質の精度を極め、
物流を超えて、
さらなる次元へ。



サポートのプロ集団がスポーツイベントを成功させる







安心も、快適も、感動も。

株式会社 協栄

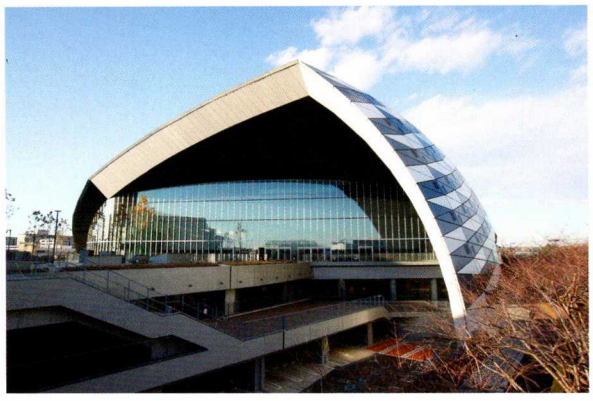
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2−13−9

TEL 03-3666-3251（代表）

ROAD TO TOKYO OLYMPIC 2020

東京オリンピック2020までの道

天井や屋根の三角模様が印象的な
武蔵野の森総合スポーツプラザに到着して、
「2年後、ここで東京オリンピックが開かれるんだ」と
感慨にふけった人は少なくないだろう。
しかし、どう出場選手が決まるのか、知らない人は多いはず。
ここでは東京オリンピック2020の舞台に立つ選手の
決まり方を解説しよう。



◀2020年7月25日から8月3日までここ武蔵野の森総合スポーツプラザを舞台に東京五輪のバドミントン競技が開催される



World Ranking 1
Yuki FUKUSHIMA & Sayaka HIROTA

Q1 オリンピックには何人出られる?

→ シングルス38名&ダブルス16組が出場

東京五輪2020には、2016年のリオデジャネイロ五輪同様、男女シングルスで各38名、男女&混合ダブルスで各16組が出場できる。のべ人数172名の狭き門だ。

Q2 選手を選ぶ基準は?

→ 世界ランキングの上位選手を選出。ただし例外がある

2019年4月29日から2020年4月26日の1年間のランキングポイントを集計した世界ランキングの上位者が出場選手に選ばれる(※)。これだけいうと、世界ランキングがシングルスなら38位以内、ダブルスなら16位以内ならば東京五輪に出場できるように思えるが、いくつか例外がある。

まずオリンピックには「開催国枠」「大陸代表枠」があり、左記の基準に当てはまらない選手が出場権を得る場合がある。「開催国枠」についていえば、日本は世界ランク上位を保つ確率が高く、特別枠を使用する必要がなさそうだ。

それよりも日本に深く関わる例外は、出場人数枠だ。1カ国・地域から出られる人数は2名／2組に限られている。さらに2名／2組のうち世界ランクが下の選手は、シングルスは16位以内、ダブルスは8位以内にいなければ、出場権は得られない決まりがある。

※厳密にいえば、「出場枠」は選手個人ではなく国・地域に与えられる。過去には最終的なランキング通りに選手が出場しなかった例もある

Q3 強くても出られない選手がいる?

→ とくに日本女子ダブルスには熾烈な出場権争いが待つ

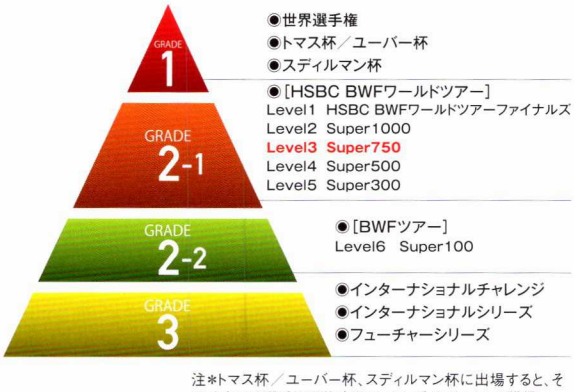
出場人数枠が定められているため、上位にいても国内にライバルが多ければ、オリンピックに出られない選手がいることになる。たとえば女子ダブルスにおいて日本は世界ランキング16位以内に6ペアがいるが、東京五輪に出られるのは2ペアだけだ。しかも2組目は世界ランク8位以内にいなければならない。

そのため、選手は2020年4月26日まで気を抜かず、ライバルたちより世界ランキングを上げる必要がある。過去には日本でも最後の対象大会で下位にいたペアが逆転し出場権をつかんだ例がある。



Q4 ランキングポイントを獲得できるのはどんな大会?

HSBC BWFワールドツアーが中心



注*トマス杯／ユーバー杯、スディルマン杯に出場すると、その時点での選手の平均点をランキングポイントとして獲得

世界バドミントン連盟が定める世界ランキングを獲得できる大会は、オリンピック以外、表のようにグレード分けされている。上にいくほど、獲得できるポイントは高く(注*)、勝ち進んだ結果に応じてポイントが配分。加算されるのは年間10大会分で、11大会以上、出場している場合、高いポイントから加算される。ただし、グレード1は開催数が限られるため、トップ選手は主に世界各国で年間27大会が開かれる「HSBC BWFワールドツアー」に参戦し、世界ランキングを稼ぐ。

「HSBC BWFワールドツアー」は表でいうと、グレード2－1に当たる。このなかにも区分があり、上に行くほど獲得できる世界ランキングは高い。『ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン』は昨年までSuper500と同格だったが、Super750に格上げされ、ランキングポイントの配分も高くなった。より強い選手が集まりやすくなっている。

Q5 出場者はいつ決まる?

2020年4月30日に決定!

2020年４月26日までの１年間で獲得したランキングポイントは、４月30日(木)に発表される世界ランキングに反映される。これが東京五輪出場の基準となる世界ランキングだ。

東京五輪出場権の面でいえば、現在、トップ選手は来年４月29日から始まる五輪出場権レースで、好位置から戦えるようシード権獲得を目指している。強い選手と１、２回戦で当たらなければ、上位進出の確率は上がる。いわば、東京オリンピックへの出場権争いはすでに始まっているのだ。

株式会社エムアイジェイ
旅行業免許：東京都知事登録旅行業第3-6527号
東京都中野区野方5-28-4-202
電話：03-5364-9500　FAX：03-5364-9556
Eメール：info@mij18.com
http://www.mij18.com/

エムアイジェイ

◆イベントに関わる旅行手配
国際・国内各種イベントに関わる総合手配・事務代行を致します。
ホテル手配・空港送迎・シャトルバスの運行、
海外選手招聘に際しての招聘状作成代行等、
多岐にわたりイベント運営のお手伝いを致します。

◆訪日外国人への国内旅行手配（インバウンド）
訪日外国人旅行客（一般観光客・ビジネス旅行客・報奨旅行客・インセンティブ等）へ、
日本ならではの、きめ細やかなサービスを提供し、
この美しく素晴らしい日本に来日された皆様へ最高のおもてなしを提供します。

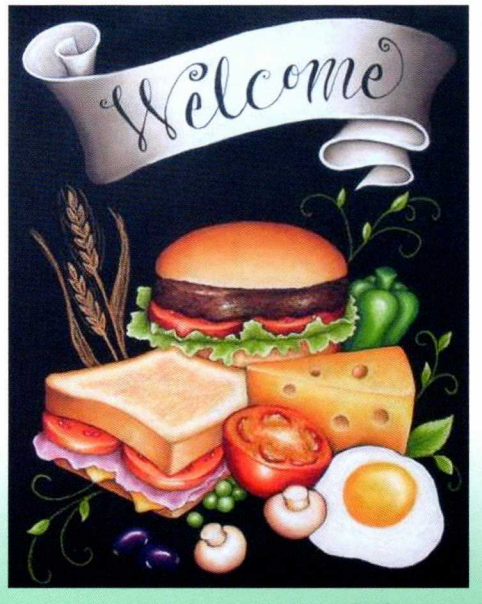
◆国内旅行
各種チケット手配、ホテル・旅館手配、観光バス手配
社員旅行やグループ旅行のお手配を承ります。

Sweet chalk art

◆お店の看板つくります！
Sign art（チョークアート看板）、インテリアチョークアートを
オーダーに合わせて制作いたします。

◆チョークアートをはじめたい！
体験教室から本格レッスンまで。
チョークアートに興味がある方、一度やってみたいなぁという方から
本格的に取り組みたい方まで対応。
高円寺校にて好評開催中！

詳しくは
http://www.chalk-art.com/





日本バドミントン専門店会

●日本バドミントン専門店会に加盟しているショップは、安心してお買物が出来るしるしです。バドミントンに関することなら、どんなことでもお気軽にお尋ね下さい。バドミントンのエキスパートがいるお店です。当店は日本バドミントン専門店会加盟店です。

●ラケット保険
当店独自の保険です。ラケットの全損・折損を保証させて頂きます。これで安心!おもいきりプレーに専念して下さい。

●新グリーンカード
ご来店でお買物現金¥500ごと(クレジット使用は¥1,000)にスタンプを押印させて頂くカードです。スタンプ30個以上で商品券として自由に使用できます。最大換金率6.25%!

大会、応援します。
●当店は、各地区のどんな小さな大会でも応援します。なんでもお気軽にご相談下さい。スタッフ一同お待ちしております。

●クラブ単位での訪問販売とレッスン・コーチも行っております。詳しくは各店又はホームページでおたずね下さい。

プレイ仲間が集う場所 BADMINTON Pro Shop

RACKET SHOP FUJI

公式 FB ページ

● 国分寺店	国分寺市南町3-19-1	☎042(322)5626
● フットケアファクトリー店		☎042(312)2572
● 吉祥寺店	武蔵野市吉祥寺本町1-7-8 マーブルビル4F	☎0422(22)8844
● 所沢店	所沢市御幸町6-1	☎04(2928)0288
● 町田店	町田市原町田6-26-11	☎042(723)9555
● 八王子店	八王子市子安町4-27-12	☎042(623)5191
● 川崎店	川崎市幸区中幸町4-50-3	☎044(541)9555
● 静岡店	沼津市庄栄町3-17 2F	☎055(929)9666
● 川越店	川越市脇田町6-9 2F	☎049(223)7444
● 立川店	立川市錦町1-8-2 2F	☎042(527)9554
● 赤羽店	北区赤羽西1-28-5 2F	☎03(3900)9554
● 海老名店	海老名市中央1-15-3 3F	☎046(234)9444
● 橋本店	相模原市緑区橋本3-27-6 2F	☎042(700)9554
● 井土ヶ谷店	横浜市南区井土ヶ谷中町156 2F	☎045(325)9551
● 市が尾店	横浜市青葉区市ヶ尾町1152-21 2F C	☎045(482)9510
● 大和店	大和市中央1-7-36	☎046(204)9009
● 世田谷店	世田谷区南烏山6-4-13 エルデ6 2F	☎03(5314)9851

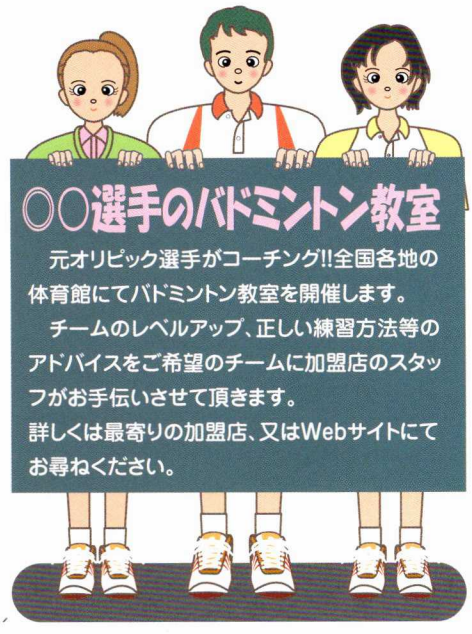
バドミントンプレーヤーと共に創造するプロショップ!!

信頼と実績でお届けします



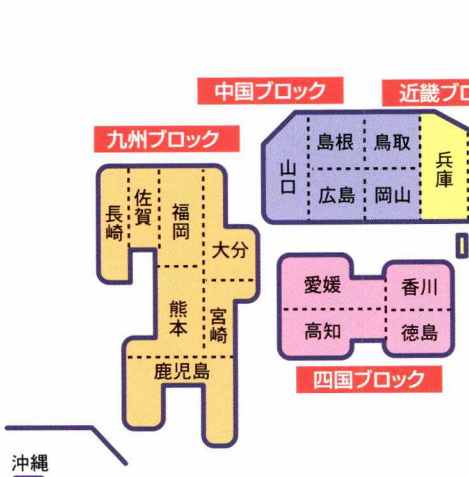
日本バドミントン専門店会加盟店

全国総店舗数102店舗、当加盟店はバドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。
個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまで日本バドミントン専門店会はお手伝いさせて頂きます。



○○選手のバドミントン教室

元オリピック選手がコーチング!!全国各地の体育館にてバドミントン教室を開催します。
チームのレベルアップ、正しい練習方法等のアドバイスをご希望のチームに加盟店のスタッフがお手伝いさせて頂きます。
詳しくは最寄りの加盟店、又はWebサイトにてお尋ねください。





QRコードで簡単アクセス!

RACRE
ラケットクリエイティブ株式会社

日本バドミントン専門店会加盟店一覧

北海道ブロック

ラケットショップスガワラ	TEL.011-271-3855 FAX.011-290-1668
スポーツプラス	TEL.0155-23-9193 FAX.0155-23-9194
イトースポーツ	TEL.0166-32-1788 FAX.0166-34-8898
クラウン商会	TEL.0143-43-1006 FAX.0143-45-4858

東北ブロック

ラケットショップ ササキ	TEL.0178-45-0028 FAX.0178-45-0180
プロショップ アオモリ	TEL.017-777-0239 FAX.017-777-0243
ラケットハウス OISPO	TEL.0197-25-8823 FAX.0197-25-8864
ラケットショップ 広瀬	TEL.022-265-0778 FAX.022-262-6103
ラケットショップ 広瀬 泉店	TEL & FAX.022-375-2255
ラケットショップ広瀬 盛岡店	TEL.019-638-1161 FAX.019-637-6170
ラケットショップ 山形	TEL.023-643-6238 FAX.023-643-6267
リトルビル	TEL.024-934-5642 FAX.024-934-5740
アキタスポネット	TEL.018-846-6112 FAX.018-846-6130

関東ブロック

ウエンブレー学芸大学本店	TEL.03-3716-2626 FAX.03-3719-3377
ウエンブレー新宿店	TEL.03-5366-6555 FAX.03-5366-6566
ウエンブレー渋谷店	TEL.03-3409-6622 FAX.03-3498-2829
ウエンブレー池袋店	TEL.03-5952-7070 FAX.03-5952-6677
ウエンブレー秋葉原店	TEL.03-3258-2626 FAX.03-3258-2255
ウエンブレー調布店	TEL.042-490-5588 FAX.042-490-5589
ウエンブレー横浜店	TEL.045-317-5959 FAX.045-317-5958
ウエンブレー藤沢店	TEL.0466-26-7272 FAX.0466-26-7559
ウエンブレー新百合ケ丘店	TEL.044-965-4411 FAX.044-965-4224
ウエンブレーセンター北店	TEL.045-910-1171 FAX.045-910-1181
ウエンブレー西船橋店	TEL.047-404-4949 FAX.047-404-4020
ラケットショップ SWING	TEL & FAX.029-824-0097
ラケットハウスグリップ	TEL & FAX.048-644-3115
ラケットショップ キャピン大宮店	TEL.048-643-5865 FAX.048-645-2295
ラケットショップ キャピン柏店	TEL.04-7166-7756 FAX.04-7164-5489
ピークスポーツ千葉店	TEL & FAX.043-253-1103
ピークスポーツ錦糸店	TEL.03-3621-0255 FAX.03-6456-1152
ミノヤスポーツ	TEL.03-3652-1505 FAX.03-3652-1506
RBTイチムラ	TEL.03-3683-2963 FAX.03-5609-2963
ラケットショップフジ国分寺店	TEL.042-322-5626 FAX.042-324-9555
ラケットショップフジ吉祥寺店	TEL.0422-22-8844 FAX.0422-21-4617
ラケットショップフジ所沢店	TEL & FAX.042-928-0288
ラケットショップフジ町田店	TEL.042-723-9555 FAX.042-723-8268
ラケットショップフジ八王子店	TEL & FAX.0426-23-5191
ラケットショップフジ川崎店	TEL.044-541-9555 FAX.044-541-9558
ラケットショップフジ静岡店	TEL & FAX.0559-29-9666
ラケットショップフジ川越店	TEL & FAX.049-223-7444
ラケットショップフジ立川店	TEL & FAX.042-527-9554
ラケットショップフジ赤羽店	TEL & FAX.03-3900-9554
ラケットショップフジ世田谷店	TEL.03-5314-9851 FAX.03-5314-9852
ラケットショップフジ海老名店	TEL & FAX.046-234-9444
ラケットショップフジ橋本店	TEL & FAX.042-700-9554
ラケットショップフジ井土ケ谷店	TEL.045-325-9551 FAX.045-325-9570
ラケットショップフジ市が尾店	TEL.045-482-9510 FAX.045-482-9509
ラケットショップフジ大和店	TEL.046-204-9009 FAX.046-204-9036
ラケットショップ ミッキー	TEL.027-243-4267 FAX.027-221-7660
ラケットショップRaToBa	TEL.055-287-8988 FAX.055-287-8987
B-WAY甲府店	TEL.055-288-8283 FAX.055-288-8284

北信越ブロック

プロショップサイトウスポーツ	TEL.025-223-1959 FAX.025-224-1282
ラケットショップ 富山	TEL & FAX.076-493-2311
スポーツショップ マツダ	TEL.076-278-2848 FAX.076-278-2356
(株)かぶとやスポーツ	TEL.0767-52-1182 FAX:0767-53-0310
フレンドスポーツ商会	TEL.0776-25-3385 FAX.0776-22-2995
スポーツコバヤシ	TEL.0770-22-0204 FAX.0770-22-7355
マスタカスポーツ 佐久平店	TEL.0267-66-7070 FAX.0267-66-7071
スポーツショップ日新	TEL.026-245-0272 FAX.026-245-2559

四国ブロック

イツキスポーツ	TEL & FAX.088-654-0353
プレイヤーズクラブ	TEL.087-835-2033 FAX.087-835-2045
ラケットショップハマナカ松山店	TEL.089-933-2366 FAX.089-932-2241
ラケットショップハマナカ新居浜店	TEL.0897-34-9191 FAX.0897-64-9994
スポーツショップフットワーク	TEL.088-832-8939 FAX.088-832-8940
(有)シノハラスポーツ	TEL.0875-24-1503 FAX.0875-24-1677

九州ブロック

スポーツ あいしん	TEL & FAX.092-328-3305
運 動 具 屋	TEL.093-452-0111 FAX.093-452-0112
SSSスリーエス	TEL & FAX.092-671-1124
体育堂ラケットワークスWaiWai	TEL & FAX.096-326-8132
スポーツショップバード	TEL & FAX.099-226-8778
ラケットショッププロエース鹿児島本店	TEL & FAX.099-226-6362
ラケットショッププロエース福岡店	TEL & FAX.092-852-7250
ラケットショッププロエース長崎店	TEL & FAX.095-832-8069
グリーンスポーツ	TEL.0956-31-0373 FAX.0956-31-7288
片岡スポーツ	TEL.0957-54-3725 FAX.0957-53-6254
スポーツショップコジコジ	TEL.0954-20-7191 FAX.0954-20-7192

東海ブロック

ラケットショップ ノナカ	TEL.052-741-3757 FAX.052-741-3901
オノダスポーツ	TEL.0544-26-3644 FAX.0544-26-0045
エバーラケット株式会社伊勢店	TEL.0596-29-0600 FAX.0596-65-6695
エバーラケット株式会社津店	TEL & FAX.059-253-7150
バドミントンショップ山田研究所	TEL.059-361-7720 FAX.059-361-7721

近畿ブロック

プロショップシャトル	TEL & FAX.077-568-0585
ラケットショップイチムラ大津	TEL & FAX.077-521-1964
B-WAY太秦店	TEL.075-882-2799 FAX.075-882-2988
B-WAY宇治店	TEL.0774-21-5850 FAX.0774-21-6087
B-WAY長岡京店	TEL.075-951-9955 FAX.075-951-9966
B-WAY桃山店	TEL.075-644-9511 FAX.075-644-9544
B-WAY弁天町店	TEL.06-6599-2000 FAX.06-6599-2001
B-WAY阿倍野店	TEL.06-6622-6006 FAX.06-6622-9009
ラケットショップイチムラ	TEL.075-841-6018 FAX.075-811-1953
サンメイトスポーツ株式会社	TEL.072-286-6668 FAX.072-286-6667
ワンステップスポーツ	TEL & FAX.0744-47-3395

中国ブロック

フタバスポーツ	TEL.0859-44-5171 FAX.0859-44-4852
ラケットショップFUTABA米子店	TEL.0859-38-5171 FAX.0859-38-4852
ラケットショップ ほしの	TEL & FAX.0852-28-5454
トップブロスポーツ岡山店	TEL.086-254-3419 FAX.086-254-3491
トップブロスポーツ西大寺店	TEL & FAX.086-943-9002
杉山スポーツ	TEL.082-263-3939 FAX.082-262-0790
ムネスエスポーツ	TEL.0833-41-0273 FAX.0833-44-2256
スポーツニシヒロ己斐店	TEL.082-271-7211 FAX.082-271-0888
カザハヤスポーツポテト館	TEL.0866-92-7100 FAX.0866-92-7050
(有)アリモトスポーツ	TEL.0868-23-8858 FAX.0868-23-0139

出場予定選手 List of competitors

23カ国・地域/258名（2018年8月24日時点）●MS＝男子シングルス ●WS＝女子シングルス ●MD＝男子ダブルス ●WD＝女子ダブルス ●XD＝混合ダブルス

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

MEN

CANADA ◉ カナダ

HO-SHUE Jason Anthony	ジェイソン・アンソニー・ホーシュエ	MS, MD
YAKURA Nyl	ニル・ヤクラ	MD

CHINA ◉ 中国

CHEN Long	チェン・ロン 諶龍	MS
HUANG Yuxiang	ファン・ユーシャン 黄宇翔	MS
LIN Dan	リン・ダン 林丹	MS
QIAO Bin	キャオ・ビン 喬斌	MS
SHI Yuqi	シー・ユーチー 石宇奇	MS
ZHANG Nan	ツァン・ナン 張楠	MD, XD
LIU Cheng	リュウ・チェン 劉成	MD
LI Junhui	リー・ジュンホウイ 李俊慧	MD
LIU Yuchen	リウ・ユチェン 劉雨辰	MD
HE Jiting	ヘ・ジテイン 何済霆	MD, XD
TAN Qiang	タン・チャン 譚強	MD
ZHOU Haodong	ツォウ・ハオドン 周昊東	MD
HAN Chengkai	ハン・チェンカイ 韓呈愷	MD
WANG Yilyu	ワン・イルユ 王懿律	XD
ZHENG Siwei	ジェン・シーウェイ 鄭思維	XD
LU Kai	ルー・カイ 魯愷	XD

DENMARK ◉ デンマーク

AXELSEN Viktor	ビクター・アクセルセン	MS
ANTONSEN Anders	アンダース・アントンセン	MS
VITTINGHUS Hans-Kristian Solberg	ハンス・クリスチャン・ソルバーグ・ヴィッティンフス	MS
GEMKE Rasmus	ラスムス・ゲンケ	MS
JORGENSEN Jan O.	ヤン・ウ・ヨルゲンセン	MS
BOE Mathias	マシアス・ボー	MD
MOGENSEN Carsten	カルステン・モゲンセン	MD
KOLDING Mads Pieler	マッズ・ピーラー・コールディング	MD
Mads CONRAD-PETERSEN	マッズ・コンラド・ピーターセン	MD
RASMUSSEN Anders Skaarup	アンダース・スカールプ・ラスムセン	MD
ASTRUP Kim	キム・アストルプ	MD
FISCHER NIELSEN Joachim	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン	XD
NOHR Niclas	ニクラス・ノア	XD

ENGLAND ◉ イングランド

WANG Yuehang	ユエハン・ワン	MS, MD
WEBSTER Raymond	レイモンド・ウェブスター	MS
ADCOCK Chris	クリス・アドコック	XD

FRANCE ◉ フランス

LEVERDEZ Brice	ブリース・レヴェルデズ	MS

GERMANY ◉ ドイツ

LAMSFUSS Mark	マーク・ラムスフス	MD, XD
SEIDEL Marvin Emil	マーヴィン・エミル・シーデル	MD, XD
ZURWONNE Josche	ヨッヘ・ツアボンネ	MD
JANSEN Jones Ralfy	ヨネス・ラルフィ・ヤンセン	MD

HONG KONG ◉ ホンコンチャイナ

NG Ka Long Angus	ン・カロン・アングス 伍家朗	MS
WONG Wing Ki Vincent	ワン・ウィンキ・ヴィンセント 黄永祺	MS
LEE Cheuk Yiu	リー・チュックユー 李卓耀	MS
HU Yun	フー・ユン 胡賡	MS
TANG Chun Man	タン・チュンマン 鄧俊文	MD, XD
LEE Chun Hei Reginald	リー・チュンヘ・レギナルド 李晋熙	MD, XD

INDIA ◉ インド

VERMA Sameer	サミール・ヴェルマ	MS
PRANNOY H. S.	H. S. プラノイ	MS
KIDAMBI Srikanth	スリカンス・K	MS
SAI PRANEETH B.	B. サイ・プラニース	MS
ATTRI Manu	マヌ・アットリ	MD
REDDY B. Sumeeth	B. スミース・レッディ	MD
SHETTY Chirag	チラーグ・シェッティ	MD
RANKIREDDY Satwiksairaj	サトウィクサイラジ・ランキレッディ	MD, XD
SHLOK Ramchandran	ラムチャンドラン・シュロク	MD
M.R. Arjun	アルジュン・M.R.	MD
CHOPRA Pranaav Jerry	プラナーヴ・ジェリー・チョプラ	XD

INDONESIA ◉ インドネシア

CHRISTIE Jonatan	ヨナタン・クリスティ	MS
GINTING Anthony Sinisuka	アンソニー・シニスカ・ギンティング	MS
SUGIARTO Tommy	トミー・スギアルト	MS
KUNCORO Sony Dwi	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	MS
SUKAMULJO Kevin Sanjaya	ケビン・S・スカムルヨ	MD
GIDEON Marcus Fernaldi	マルクス・F・ギデオン	MD
ALFIAN Fajar	ファジャル・アルフィアン	MD
ARDIANTO Muhammad Rian	ムハマド・リアン・アルディアント	MD
ANGRIAWAN Berry	ベリー・アングリアワン	MD
HARDIANTO Hardianto	ハルディアント・ハルディアント	MD
ARYA PANGKARYANIRA Wahyu Nayaka	ワーユ・ナヤカ・アリャ・パンカリャニラ	MD
SANTOSO Ade Yusuf	アデ・ユスフ・サントソ	MD
AHSAN Mohammad	モハマド・アッサン	MD
SETIAWAN Hendra	ヘンドラ・セティアワン	MD
PRATAMA Angga	アンガ・プラタマ	MD
KARANDASUWARDI Ricky	リッキー・カランダスワルディ	MD, XD
AHMAD Tontowi	トントウィ・アフマド	XD
FAIZAL Hafiz	ハフィズ・ファイザル	XD
JORDAN Praveen	パラフィーン・ジョーダン	XD

IRELAND ◉ アイルランド

MAGEE Sam	サム・マギー	XD

ISRAEL ◉ イスラエル

ZILBERMAN Misha	ミーシャ・ジルバーマン	MS

KOREA ◉ 韓国

SON Wan Ho	ソン・ワンホ	MS
LEE Dong Keun	イ・ドンクン	MS
CHUNG Eui Seok	チュン・イソク	MD
KIM DukYoung	キム・ドギョン	MD
SEO Seung Jae	ソ・スンジェ	MD
KIM Won Ho	キム・ウンホ	MD

MALAYSIA ◉ マレーシア

CHONG Wei Feng	チョン・ウェイフェン	MS
ZULKARNAIN Iskandar	イスカンダー・ズルカーナイン	MS
TAN Wee Kiong	タン・ウィーキョン	MD
GOH V Shem	ゴー・V シェム	MD
TEO Ee Yi	ティオ・エーイ	MD
ONG Yew Sin	オン・ヨーシン	MD
AZRIYN Nur Mohd Azriyn Ayub	ヌー・モハマド・アズリン・アユブ・アズリン	MD
ARIF Mohamad Arif Ab Latif	モハマド・アリフ・アブ・ラティフ・アリフ	MD
CHOOI Kah Ming	チューイ・カーミン	MD
LOW Juan Shen	ロウ・ジャンシェン	MD
CHAN Peng Soon	チャン・ペンスン	XD
TAN Kian Meng	タン・キャンメン	XD
GOH Soon Huat	ゴー・スンフット	XD

NETHERLAND ◉ オランダ

CALJOUW Mark	マーク・カルジュー	MS
TABELING Robin	ロビン・テーベリング	MD, XD
MAAS Jelle	イェレ・マース	MD

RUSSIA ◉ ロシア

IVANOV Vladimir	ウラジミール・イワノフ	MD
SOZONOV Ivan	イワン・ソゾノフ	MD
ALIMOV Rodion	ロディオン・アリモフ	XD

CHINESE TAIPEI ◉ チャイニーズ・タイペイ

CHOU Tien Chen	チョウ・ティエンチェ 周天成	MS
WANG Tzu Wei	ワン・ツーウェイ 王子維	MS
KAN Chao Yu	カン・チャオユ 甘超宇	MS, MD
HSU Jen Hao	シュー・ジェンハオ 許仁豪	MS
LEE Yang	リー・ヤン 李洋	MD, XD
LEE Jhe-Huei	リー・ジェフェイ 李哲輝	MD
CHEN Hung Ling	チェン・フンリン 陳宏麟	MD
WANG Chi-Lin	ワン・チーリン 王齊麟	MD, XD
SU Ching Heng	スー・チンヘン 蘇敬恒	MD
LIAO Min Chun	リャオ・ミンチュン 廖敏竣	MD
LU Ching Yao	ルー・チンヤオ 盧敬堯	XD
LIAO Chi-Hung	リャオ・チーフン 廖敏宏	MD

THAILAND ◉ タイ

WANGCHAROEN Kantaphon	カンタフォン・ワンチャロン	MS
PHETPRADAB Khosit	コシット・フェトラダブ	MS
AVIHINGSANON Suppanyu	スパニュ・アヴィヒンサノン	MS
SAENSOMBOONSUK Tanongsak	タノンサック・サエンソンボーンスク	MS
THAMMASIN Sittikhom	シットヒコム・タンマシン	MS
PUAVARANUKROH Dechapol	デチャポン・プアヴァラヌクロー	MD, XD
KEDREN Kittinupong	キッティヌポン・ケドレン	MD
KUNA-ANUVIT Pakin	パキン・クナ・アニュヴィット	MD, XD
TRINKAJEE Natthapat	ナタパット・トリンカジェ	MD
JONGJIT Maneepong	マニーポン・ジョングジット	MD
ISARA Bodin	ボディン・イサラ	MD
ISRIYANET Tinn	ティン・イスリヤネット	MD
NAMDASH Kittisak	キッティサク・ナムダシュ	MD
APISUK Inkarat	インカラット・アピスク	MD
VIRIYANGKURA Tanupat	タヌパット・ヴィリヤンクラ	MD
JOMKOH Supak	スパック・ジョンコー	XD
PHUANGPHUAPET Nipitphon	ニピットフォン・ファウングファペット	XD

USA ◉ アメリカ

FOGARTY Mathew	マシュー・フォガーティ	MS, XD

VENEZUELA ◉ ベネズエラ

WU ZHENG Jhonatan	ジョナタン・ウー・ツェン	MS, MD

JAPAN ◉ 日本

MOMOTA Kento	桃田 賢斗	NTT東日本	MS
NISHIMOTO Kenta	西本 拳太	トナミ運輸	MS
SAKAI Kazumasa	坂井 一将	日本ユニシス	MS
TSUNEYAMA Kanta	常山 幹太	トナミ運輸	MS
SONODA Keigo	園田 啓悟	トナミ運輸	MD
KAMURA Takeshi	嘉村 健士	トナミ運輸	MD
INOUE Takuto	井上 拓斗	日本ユニシス	MD
KANEKO Yuki	金子 祐樹	日本ユニシス	MD, XD
ENDO Hiroyuki	遠藤 大由	日本ユニシス	MD
WATANABE Yuta	渡辺 勇大	日本ユニシス	MD, XD
HOKI Takuro	保木 卓朗	トナミ運輸	MD, XD
KOBAYASHI Yugo	小林 優吾	トナミ運輸	MD

WOMEN

BULGARIA ◉ ブルガリア

STOEVA Stefani	ステファニ・ストエヴァ	WD
STOEVA Gabriela	ガブリエラ・ストエヴァ	WD

CANADA ◉ カナダ

LI Michelle	ミシェル・リー	WS

CHINA ◉ 中国

CHEN Yufei	チェン・ユーフェイ 陳雨菲	WS
HE Bingjiao	ヘ・ビンジャオ 何冰嬌	WS
GAO Fangjie	ガオ・ファンジェ 高昉潔	WS
CHEN Xiaoxin	チェン・シャオシン 陳暁欣	WS
CAI Yanyan	カイ・ヤンヤン 蔡炎炎	WS
CHEN Qingchen	チェン・チンチェン 陳清晨	WD
JIA Yifan	ジァ・イーファン 賈一凡	WD
DU Yue	ドゥ・ユエ 杜玥	WD, XD
LI Yinhui	リー・インフィ 李茵晖	WD, XD
LI Wenmei	リー・ウェンメイ 李汶妹	WD
HUANG Dongping	ファン・ドンピン 黄東萍	WD, XD
TANG Jinhua	タン・ジンファ 湯金華	WD
YU Xiaohan	ユ・シャオハン 于小含	WD
HUANG Yaqiong	ファン・ヤチョン 黄雅瓊	XD
CHEN Lu	チェン・ルー 陳露	XD

DENMARK ◉ デンマーク

BLICHFELDT Mia	ミア・ブリッチフェルト	WS
THYGESEN Sara	サラ・ティゲセン	WD, XD
FRUERGAARD Maiken	マイケン・フラーハード	WD
BØJE Alexandra	アレクサンドラ・ブイ	XD

ENGLAND ◉ イングランド

ADCOCK Gabrielle	ガブリエル・アドコック	XD

GERMANY ◉ ドイツ

EFLER Linda	リンダ・エフラー	XD
HERTTRICH Isabel	イザベル・ヘルトリヒ	XD

HONG KONG ◉ ホンコンチャイナ

CHEUNG Ngan Yi	チュン・ガンイ 張雁宜	WS
YIP Pui Yin	イップ・プイイン 葉佩廷	WS
TSE Ying Suet	ツェ・インスェット 謝影雪	XD
CHAU Hoi Wah	チョウ・ホイワー 周凱華	XD

INDIA ◉ インド

JAKKA Vaishnavi Reddy	ヴァイシュナヴィ・レッディ・ジャッカ	WS
NEHWAL Saina	サイナ・ネワル	WS
PUSARLA V. Sindhu	プサルラ・V・シンドゥ	WS
PONNAPPA Ashwini	アシュウィニ・ポンナッパ	WD, XD
REDDY N. Sikki	N. シッキ・レッディ	WD, XD

INDONESIA ◉ インドネシア

TUNJUNG Gregoria Mariska	グレゴリア・マリスカ・トゥンジュン	WS
MAINAKY Lyanny Alessandra	リアニー・アレッサンドラ・マイナキー	WS
POLII Greysia	グレシア・ポリー	WD
RAHAYU Apriyani	アプリヤニ・ラハユ	WD
AWANDA Anggia Shitta	アンギア・シッタ・アワンダ	WD
ISTARANI Ni Ketut Mahadewi	ニ・ケタット・マハデフィ・イスタラニ	WD
HARIS Della Destiara	デラ・デスティアラ・ハリス	WD
PRADIPTA Rizki Amelia	リッキ・アメリア・プラディプタ	WD
NATSIR Liliyana	リリアナ・ナッチル	XD
WIDJAJA Gloria Emanuelle	グロリア・エマヌエル・ウィジャジャ	XD
OKTAVIANTI Melati Daeva	メラティ・デファ・オクタフィアンティ	XD
SUSANTO Debby	デビィ・スサント	XD

IRELAND ◉ アイルランド

MAGEE Chloe	クロエ・マギー	XD

ISRAEL ◉ イスラエル

POLIKARPOVA Ksenia	クセニア・ポリカプロワ	WS

KOREA ◉ 韓国

SUNG Ji Hyun	スン・ジヒュン	WS
CHANG Ye Na	チャン・イェナ	WD
JUNG Kyung Eun	ジュン・キュンユン	WD
LEE So Hee	イ・ソヒ	WD
SHIN Seung Chan	シン・ソンチャン	WD
KIM So Yeong	キム・ソヨン	WD
KONG Hee Yong	コン・ヒヨン	WD
KIM Hye Rin	キム・ヘリン	WD
BAEK Ha Na	ペク・ハナ	WD

MALAYSIA ◉ マレーシア

GOH Jin Wei	ゴー・ジンウェイ	WS
CHEAH Soniia	ソニア・チア	WS
GOH Liu Ying	ゴー・リューイン	XD
LAIPei Jing	ライ・ペイジン	XD
LAI Shevon Jemie	ライ・シェヴォン・ジェミー	XD

NETHERLAND ◉ オランダ

SEINEN Cheryl	シェリル・セイネン	XD

RUSSIA ◉ ロシア

KOSETSKAYA Evgeniya	エフゲーニャ・コセツカヤ	WS
BOLOTOVA Ekaterina	エカテリーナ・ボロトワ	WD
DAVLETOVA Alina	アリナ・ダブレトワ	WD, XD

SCOTLAND ◉ スコットランド

GILMOUR Kirsty	カースティ・ギルモア	WS

SPAIN ◉ スペイン

MARIN Carolina	キャロリーナ・マリン	WS

CHINESE TAIPEI ◉ チャイニーズ・タイペイ

TAI Tzu Ying	タイ・ツーイン 戴資穎	WS
PAI Yu Po	パイ・ユーポ 白駅珀	WS
LEE Chia Hsin	リー・チャーシン 李佳馨	WS, XD
HSU Ya Ching	シュー・ヤーチン 許雅晴	WD, XD
WU Ti Jung	ウー・ティジュン 吳玓蓉	WD
HU Ling Fang	フー・リンファン 胡綾芳	XD

THAILAND ◉ タイ

INTANON Ratchanok	ラチャノック・インタノン	WS
JINDAPOL Nitchaon	ニッチャオン・ジンダポル	WS
CHOCHUWONG Pornpawee	ポルンパウィ・チョチュウォン	WS
SUPAJIRAKUL Puttita	プッティタ・スパジラクル	WD, XD
KITITHARAKUL Jongkolphan	ジョンコルファン・キティタラクル	WD
PRAJONGJAI Rawinda	ラウィンダ・プラジョンジャイ	WD
PAEWSAMPRAN Supissara	スピサラ・ペウサンプラン	WD, XD
TAERATTANACHAI Sapsiree	サプシリー・タエラッタナチャイ	XD
AMITRAPAI Savitree	サヴィトゥリー・アミトラパイ	XD

USA ◉ アメリカ

ZHANG Beiwen	ツァン・ベイウェン	WS
ZHONG Isabel	イザベル・ツォン	WS,WD, XD
LEE Sydney	シドニー・リー	WD
LEE Ariel	アリエル・リー	WD
KANEmily	エミリー・カン	WD

JAPAN ◉ 日本

YAMAGUCHI Akane	山口 茜	再春館製薬所	WS
OKUHARA Nozomi	奥原 希望	日本ユニシス	WS
SATO Sayaka	佐藤 冴香	ヨネックス	WS
OHORI Aya	大堀 彩	トナミ運輸	WS
KAWAKAMI Saena	川上 紗恵奈	北都銀行	WS
TAKAHASHI Sayaka	高橋 沙也加	日本ユニシス	WS
MITANI Minatsu	三谷 美菜津	NTT東日本	WS
TAKAHASHI Ayaka	高橋 礼華	日本ユニシス	WD
MATSUTOMO Misaki	松友 美佐紀	日本ユニシス	WD, XD
FUKUSHIMA Yuki	福島 由紀	岐阜トリッキーパンダース	WD
HIROTA Sayaka	廣田 彩花	岐阜トリッキーパンダース	WD
YONEMOTO Koharu	米元 小春	北都銀行	WD, XD
TANAKA Shiho	田中 志穂	北都銀行	WD
NAGAHARA Wakana	永原 和可那	北都銀行	WD
MATSUMOTO Mayu	松本 麻佑	北都銀行	WD
FUKUMAN Naoko	福万 尚子	ヨネックス	WD
YONAO Kurumi	與猶 くるみ	ヨネックス	WD
SAKURAMOTO Ayako	櫻本 絢子	ヨネックス	WD
TAKAHATA Yukiko	高畑 祐紀子	ヨネックス	WD
ARATAMA Misato	新玉 美郷	NTT東日本	WD
WATANABE Akane	渡邉 あかね	NTT東日本	WD
SHIDA Chiharu	志田 千陽	再春館製薬所	WD
MATSUYAMA Nami	松山 奈未	再春館製薬所	WD
HIGASHINO Arisa	東野 有紗	日本ユニシス	XD

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン歴代優勝者
LIST OF WINNERS 1982-2017

1982～1998年まで「ヨネックスカップ・ジャパンオープン」
1999～2016年まで「ヨネックスオープンジャパン」として開催
●MS＝男子シングルス ●WS＝女子シングルス ●MD＝男子ダブルス
●WD＝女子ダブルス ●XD＝混合ダブルス

1982（第1回）／兵庫県神戸市

MS	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	KARTONO	カルトノ	インドネシア
	R.HERYANTO	ルディ・ヘリヤント	
WD	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド
	Jane WEBSTER	ジェーン・ウェブスター	
XD	Michael TREDGETT	マイケル・トレジェット	イングランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	

1983（第2回）／神奈川県横浜市

MS	HAN Jian	韓　健	中国
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	イングランド
	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	
XD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1984（第3回）／東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	ZHENG Yuli	鄭昱鯉	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Karen BECKMAN	カレン・ベックマン	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	
XD	Martin DEW	マーチン・デュー	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	

1985（第4回）／東京都・群馬県桐生市

MS	ZHAO Jianhua	趙剣華	中国
WS	WU Jianqiu	呉健秋	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	KIM Yun Ja	金練子	韓国
	YOO Sang Hee	柳尚希	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	イングランド

1986（第5回）／東京都・群馬県桐生市

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Razif SIDEK	ラジフ・シデク	マレーシア
	Jalani SIDEK	ジャラニ・シデク	
WD	WU Dixi	呉迪西	中国
	LIN Ying	林　瑛	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1987（第6回）／大阪府守口市

MS	XIONG Guobao	熊国宝	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	LIEM Swie King	リム・スイキン	インドネシア
	Eddy HARTONO	エディ・ハルトノ	
WD	LIN Ying	林　瑛	中国
	GUAN Weizhen	関渭貞	
XD	LEE Deuck Choon	李得春	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1988（第7回）／東京都・群馬県桐生市

MS	Nick YATES	ニック・イエーツ	イングランド
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	TIAN Bingyi	田秉毅	中国
	LI Yongbo	李永波	
WD	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	韓国
	CHUNG So Young	鄭素英	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1989（第8回）／東京都

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	LEE Son Bok	李相福	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Jilie MUNDY	ジリー・ムンディー	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1990（第9回）／東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	YAO Fen	姚　芬	中国
	LAI Caiqin	頼彩勤	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1991（第10回）／東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1992（第11回）／東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	HWANG Hye Young	黄恵英	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Pemille DUPONT	ペミール・デュポン	

1993（第12回）／東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1994（第13回）／東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Deny KANTONO	デニー・カントノ	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Jon HOLST-CHRISTENSEN	ヨン・ホルスト・クリステンセン	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1995（第14回）／東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Marlene THOMSEN	マーレーン・トムセン	

1996（第15回）／東京都

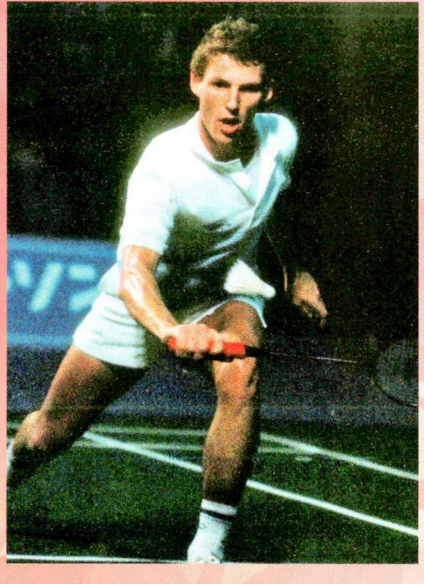
MS	Joko SUPRIANTO	ジョコ・スプリアント	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GIL Young Ah	吉永雅	韓国
	JANG Hye Ock	張恵玉	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1997（第16回）／東京都

MS	Peter RASMUSSEN	ピーター・ラスムセン	デンマーク
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

1998（第17回）／東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	CHEAH Soon Kit	チー・スーンキット	マレーシア
	YAP Kim Hock	ヤップ・キムホック	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	



◀第3回大会で優勝したモルテン・フロストは「二冠・貴公子」と呼ばれており、世界中で人気が高かった



◀中国勢が世界を席巻した時代、驚異的な粘りで中国に対抗できる数少ない存在だったスシ・スサンティ



◀日本代表の朴柱奉ヘッドコーチ（右）は、男子複と混合複を合わせ最多の9回優勝。"ダブルスの神"との異名もあった







DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

1999（第18回）／東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	HA Tae Kwon / KIM Dong Moon	河泰権 / 金東文	韓国
WD	GE Fei / GU Jun	葛　菲 / 顧　俊	中国
XD	LIU Yong / GE Fei	劉　永 / 葛　菲	中国

2000（第19回）／東京都

MS	JI Xinpeng	吉新鵬	中国
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	Candra WIJAYA / Tony GUNAWAN	チャンドラ・ウィジャヤ / トニー・グナワン	インドネシア
WD	HUANG Nanyan / YANG Wei	黄楠雁 / 楊　維	中国
XD	LIU Yong / GE Fei	劉　永 / 葛　菲	中国

2001（第20回）／東京都

MS	Roslin HASHIM	ロスリン・ハシム	マレーシア
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	Candra WIJAYA / Sigit BUDIARTO	チャンドラ・ウィジャヤ / シギット・ブディアルト	インドネシア
WD	GAO Ling / HUANG Sui	高　崚 / 黄　穂	中国
XD	Bambang SUPRIANTO / Minarti TIMUR	バンバン・スプリアント / ミナルティ・ティムール	インドネシア

2002（第21回）／東京都

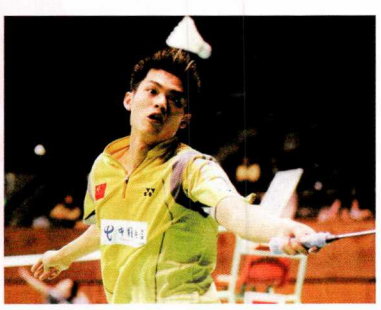
MS	LEE Hyun Il	李炫一	韓国
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	CHAN Chong Ming / CHEW Choon Eng	チャン・チョンミン / チュー・チューエン	マレーシア
WD	RA kyung Min / LEE Kyung Won	羅景民 / 李敬元	韓国
XD	KIM Dong Moon / RA Kyung Min	金東文 / 羅景民	韓国

2003（第22回）／東京都

MS	XIA Xuanze	夏煊澤	中国
WS	Camilla MATIN	カミラ・マーチン	デンマーク
MD	Flandi LIMPELE / Eng HIAN	フランディー・リンペレ / エン・ヒアン	イングランド
WD	GAO Ling / HUANG Sui	高　崚 / 黄　穂	中国
XD	ZHANG Jun / GAO Ling	張　軍 / 高　崚	中国

2004（第23回）／東京都

MS	Ronald SUSIRO	ロナルド・スシロ	シンガポール
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	オランダ
MD	HA Tae Kwon / KIM Dong Moon	河泰権 / 金東文	韓国
WD	RA Kyung Min / LEE Kyung Won	羅景民 / 李敬元	韓国
XD	Nova WIDIANTO / Vita MARISSA	ノバ・ウィディアント / ヴィタ・マリサ	インドネシア



◀五輪連覇という偉業を達成した林丹は3回優勝。来月36歳になるが、いまも現役を続行中

2005（第24回）／東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Jens ERIKSEN / Martin LUNDGAARD HANSEN	イエンス・エリクセン / マーチン・ルンドガード・ハンセン	デンマーク
WD	YANG Wei / ZHANG Jiewen	楊　維 / 張潔雲	中国
XD	Sudket PRAPAKAMOL / Saralee THUNGTHONGKAM	スッケー・プラカモル / サラリー・トゥントーンカム	タイ

2006（第25回）／東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Candra WIJAYA / Tony GUNAWAN	チャンドラ・ウィジャヤ / トニー・グナワン	インドネシア / アメリカ
WD	GAO Ling / HUANG Sui	高　崚 / 黄　穂	中国
XD	Flandi LIMPELE / Vita MARISSA	フランディー・リンペレ / ヴィタ・マリサ	インドネシア

2007（第26回）／東京都

MS	LEE Chongwei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Tine RASMUSSEN	ティーネ・ラスムセン	デンマーク
MD	Candra WIJAYA / Tony GUNAWAN	チャンドラ・ウィジャヤ / トニー・グナワン	インドネシア / アメリカ
WD	YANG Wei / ZHANG Jiewen	楊　維 / 張潔雲	中国
XD	ZHENG Bo / GAO Ling	鄭　波 / 高　崚	中国

2008（第27回）／東京都

MS	Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	インドネシア
WS	WANG Yihan	王儀涵	中国
MD	Lars PAASKE / Jonas RASMUSSEN	ラース・パースク / ヨナス・ラスムセン	デンマーク
WD	CHENG Shu / ZHAO Yunlei	成　淑 / 趙蕓蕾	中国
XD	Muhammad RIJAL / Vita MARISSA	ムハンマド・リジャル / ヴィタ・マリサ	インドネシア

2009（第28回）／東京都

MS	BAO Chunlai	鮑春来	中国
WS	WANG Yihan	王儀涵	中国
MD	Markis KIDO / Hendra SETIAWAN	マルキス・キドー / ヘンドラ・セティアワン	インドネシア
WD	MA Jin / WANG Xiaoli	馬　晋 / 王暁理	中国
XD	Songphon ANUKRITAYAWON / Kulchala VORAVICHITCHAIKUL	ソンフォン・アヌグリタヤウォン / クルチャラ・ウォラウイチツアイクル	タイ

2010（第29回）／東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	JIANG Yanjiao	蔣燕皎	中国
MD	FU Haifeng / CAI Yun	傅海峰 / 蔡　贇	中国
WD	YU Yang / WANG Xiaoli	於　洋 / 王暁理	中国
XD	ZHANG Nan / ZHAO Yunlei	張　楠 / 趙蕓蕾	中国

2011（第30回）／東京都

MS	CHEN Long	譚　龍	中国
WS	WANG Yihan	王儀涵	中国
MD	CAI Yun / FU Haifeng	傅海峰 / 蔡　贇	中国
WD	BAO Yixin / ZHONG Qianxin	包宜鑫 / 鐘倩欣	中国
XD	CHEN Hung Ling / CHENG Wen Hsing	陳宏麟 / 程文欣	チャイニーズ・タイペイ

2012（第31回）／東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	TAI Tzu Ying	戴資穎	チャイニーズ・タイペイ
MD	KIM Gi Jung / KIM Sa Rang	金基正 / 金沙朗	韓国
WD	POON Lok Yan / TSE Ying Suet	潘楽恩 / 謝影雪	ホンコン チャイナ
XD	CHAN Peng Soon / GOH Liu Ying	チャン・ペンスン / ゴー・リューイン	マレーシア

2013（第32回）／東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	YAMAGUCHI Akane	山口茜	日本
MD	Hendra SETIAWAN / Mohammad AHSAN	ヘンドラ・セティアワン / モハマド・アッサン	インドネシア
WD	MA Jin / TANG Jinhua	馬　晋 / 湯金華	中国
XD	ZHANG Nan / ZHAO Yunlei	張　楠 / 趙蕓蕾	中国

2014（第33回）／東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	LI Xuerui	李雪芮	中国
MD	YOO Yeon Seong / LEE Yong Dae	柳延星 / 李龍大	韓国
WD	TAKAHASHI Ayaka / MATSUTOMO Misaki	髙橋礼華 / 松友美佐紀	日本
XD	ZHANG Nan / ZHAO Yunlei	張　楠 / 趙蕓蕾	中国

2015（第34回）／東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	OKUHARA Nozomi	奥原希望	日本
MD	YOO Yeon Seong / LEE Yong Dae	柳延星 / 李龍大	韓国
WD	ZHAO Yunlei / ZHONG Qianxin	趙蕓蕾 / 鐘倩欣	中国
XD	Joachim FISCHER NIELSEN / Christinna PEDERSEN	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン / クリスティナ・ペダーセン	デンマーク

2016（第35回）／東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	HE Bingjiao	何冰嬌	中国
MD	LI Junhui / LIU Yuchen	李俊慧 / 劉雨辰	中国
WD	Kamilla RYTTER JUHL / Christinna PEDERSEN	カミラ・リター・ユール / クリスティナ・ペダーセン	デンマーク
XD	ZHENG Siwei / CHEN Qingchen	鄭思維 / 陳清晨	中国

2017（第36回）／東京都 WINNER 優勝

MS	Viktor AXELSEN	ビクター・アクセルセン	デンマーク
WS	Carolina MARIN	キャロリーナ・マリン	スペイン
MD	SUKAMULJO Kevin Sanjaya / GIDEON Marcus Fernaldi	ケビン・S・スカムルヨ / マルクス・F・ギデオン	インドネシア
WD	TAKAHASHI Ayaka / MATSUTOMO Misaki	髙橋礼華 / 松友美佐紀	日本
XD	WANG Yilyu / HUANG Dongping	王懿律 / 黄東萍	中国

RUNNER-UP 準優勝

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	HE Bingjiao	何冰嬌	中国
MD	INOUE Takuto / KANEKO Yuki	井上拓斗 / 金子祐樹	日本
WD	KIM Ha Na / KONG Hee Yong	金ハナ / 孔熙容	韓国
XD	HOKI Takuro / HIROTA Sayaka	保木卓朗 / 廣田彩花	日本

Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO

Behind Your "Best"



©The Asahi Shimbun via Getty Image
©Atsushi Tomura/Getty Images for Tokyo 202
©Junya Nishigawa - PARAPHOTO/Getty Image
©Ian MacNicol/Getty Images ©JBFA ©X-

味の素㈱は「勝ち飯®」メニューを選手に提供することで、
東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団を応援しています。





\ がんばる人のチカラになるごはん /

勝ち飯®

オリンピック・パラリンピック日本代表選手団が、世界で勝つために。
味の素㈱は、独自の栄養プログラム「勝ち飯®」メニューで、
彼らのカラダづくりを支えています。

TOKYO 2020 | AJINOMOTO | TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー
(調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品)

バドミントン・マガジン Badminton MAGAZINE

競技者必携、国内唯一の専門誌

毎月22日発売／B5判

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープンの大会レポートは、
10月22日(月)発売の11月号に掲載する予定です。
なお、弊誌が運営するウェブサイト「バド×スピ！」(www.badspi.jp)
では、大会結果などを連日更新予定！

「バド×スピ！」はこちらから



定期割のご案内

定期購読の新サービスとして、
「定期割」を始めました!!
断然お得なサービスです。

通常1冊あたり890円のところ……

購読期間(冊数)	1冊あたり	通常購読料		「定期割」購読料(税・送料込)	
3年割(36冊)	623円	32,040円	➡	22,428円	30%オフ (9,612円お得!)
2年割(24冊)	712円	21,360円	➡	17,088円	20%オフ (4,272円お得!)
1年割(12冊)	801円	10,680円	➡	9,612円	10%オフ (1,068円お得!)

[お申し込み方法]
◎ベースボールマガジン社のホームページ「sportsclick」を検索
➡クレジットカード決済 http://bbm-subscribe.com/
➡郵便振替にてお支払い http://bbm-subscribe.com/postal/
◎電話 0120-413-490(受付時間 9:30～17:00／土日祝・休み)➡郵便振替にてお支払い

最大30%オフ

◎「定期割」に関するお問い合わせ先
㈱ベースボール・マガジン社 販売局 東京都中央区日本橋浜町2-61-9 TIE浜町ビル
0120-413-490(受付時間 9:30～17:00／土日祝・休み)

最新刊

マルチアングル戦術図解

バドミントンの戦い方



ショットの使い方、攻撃するプロセスがわかる！
次の展開をイメージできる戦術の新しい教科書

藤本ホセマリ[プロバドミントントレーナー] 著／定価(本体1,800円+税)◎好評発売中！

3Dグラフィックを用いて、バドミントンの戦術をよりわかりやすく、直感的に理解できる一冊。実戦において欠かすことのできないショットの特徴や使い方をはじめ、試合で役立つ実践的な戦術を解説。シングルス、ダブルスの章は、戦術を基本、実用、状況別と3つの要素に分けて紹介することで、段階的に理解を深められる構成になっている。さらに環境への適応法、メンタル、試合の分析にいたるまで網羅。バドミントンのプレーヤーはもちろん、指導者のレベルアップにも最適だ。

ベースボール・マガジン社 http://www.sportsclick.jp/bookcart/ [受注センター]0120-911-410

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018 オフィシャル
OFFICERS

DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

大会役員

大会会長 PRESIDENT	綿貫民輔	Tamisuke Watanuki			
大会名誉顧問	小池百合子	Yuriko Koike			
	米山 勉	Ben Yoneyama			
	浅岡 武	Takeshi Asaoka			
大会副会長 VICE PRESIDENTS	関根義雄	Yoshio Sekine			
	福田達夫	Tatsuo Fukuda			
	千葉健夫	Tateo Chiba			
	奥平総一郎	Soichiro Okudaira			
	林田草樹	Kusaki Hayashida			
大会顧問	森 喜朗	関谷勝嗣	森田 一	権田正一	平田登志郎
	青木昭二	毛利清志	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一
	牧野 武	村山幸雄	濱中 誠	岡本武利	野村嘉明
	里見光徳	佐藤芳朗	竹林克彦	油井秀男	木村 寛
	遠井稔男	岡村英男	川島一郎	板垣隆房	星野忠男
	加藤博司	藤本 滋	藤原和文	加藤寛治	原 紀征
	鈴木勝之	中山紀子	藤原 航	真壁幹雄	籾井 勝人
	野村安忠	西村健二	工藤勇参	築地孝彦	三井 裕
大会参与	木戸純一	阿部秀夫	村元英美	坂上 昭	濱中 勉
	河野幸男	芝スミ子	組村 明	福井正康	杉山郁郎
	三須得次	荻田 實	関 敏夫	小林健二	太田耕貴
	森谷喜久男	栗田光憲	菅原幸雄	水上英二	佐藤 隆
	池田公子	辻澤康弘	鏑木興司	保田秀行	
大会委員長 CHAIRMAN	銭谷欽治	Kinji Zeniya			
大会副委員長 VICE CHAIRMANS	笹林義春	Yoshiharu Sasabayashi			
大会委員	山田順一郎	佐竹養一	上松芳則	髙橋英夫	小国久美
	小野 理	河崎正紀	京田和男	田部井秀郎	民谷千寿子
	丹藤 勇一	栂野尾悦子	遠井 努	能登則男	原田利雄
	山蔭 栄	浅岡 武	上原信彦	三宅祐司	木下伸介
	中村英之	田畑 諒	鈴木利雄	今来サキ	兒嶋 昇
	殿川宣勝	竹内ヒロ子	笹林義春	山中達雄	横山 登
	落合久夫	原 正人	福島美記子	矢野圭典	嶋田菜乃
	中野正一	渡邊春男	内村 実	加藤 孝	中澤悦子
	野村貴広	吉田 繁	白鳥 卓	横川明弘	千葉俊信
	藤井弘行	上田敏之	彌永正信	山城譲治	須田和裕
	前川 正	森 麗子	川嶋史章	風間実可子	鈴木幹人
	町田昌敏	金子竜哉	中野裕一	鈴木高広	内田直継
	武藤智行				

世界バドミントン連盟
BADMINTON WORLD FEDERATION

PRESIDENT	Poul-Erik Hoyer	
VICE PRESIDENTS	Michel Bau	
	Gregory Verpoorten	
	Anton Subowo	
	Geraldine Brown	
	Vishu Tolan	
	Paul Kurzo	
COUNCIL MEMBERS	Nigel Skelt	David Cabello
	Peter Tarcala	Lim Teong Kiat
	Etienne Thobois	Koen Ridder
	Jassem Kanso	Ng Yoke Weng
	Robbert de Kock	Nora Perry
	Sergey Shakhray	Emma Mason
	Moosa Nashid	Tang Jiu Hong
	Chipo Zumburani	Battushig Batbold
	Wayne Somers	Khunying Patama Leeswadtrakul

大会運営委員
TOURNAMENT COMMITTIEES

運営委員長 CHAIRMAN	銭谷欽治	Kinji Zeniya
運営副委員長 VICE-CHAIRMAN	林田草樹	Kusaki Hayashida
	山田順一郎	Junichiro Yamada
	髙橋英夫	Hideo Takahashi
	丹藤勇一	Yuichi Tando
	笹林義春	Yoshiharu Sasabayashi
委員 STAFF MEMBERS	上松芳則	Yoshinori Uematsu
	佐竹養一	Yoichi Satake
	橋口俊彦	Toshihiko Hashiguchi
	西 祐子	Yuko Nishi
	山中達雄	Tatsuo Yamanaka
	海老原宏明	Hiroaki Ebihara
	古澤秀基	Hideki Furusawa
	石田一文	Kazufumi Ishida
	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	石井 巖	Iwao Ishii
	大野 淳	Jun Ono
	齊藤正紀	Masanori Saito
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	関口洋一	Yoichi Sekiguchi
	軍司和久	Kazuhisa Gunji
	橋本健太郎	Kentaro Hashimoto
	日野紗和	Sawa Hino
	田村静香	Shizuka Tamura
	石川 卓	Suguru Ishikawa

大会運営委員
TOURNAMENT COMMITTIEES

レフェリー Referee		Mojmir Hnilica
デピュティレフェリー Deputy Referee		Jeff Bell
アシスタントレフェリー Assistant Referee	遠井 努	Tsutomu Toi
アンパイアコーディネーター Umpire Coordinator	原 正人	Masato Hara
トーナメントディレクター Tournament Director	丹藤勇一	Yuichi Tando
アシスタントディレクター Assistant Director	西 祐子	Yuko Nishi

実行委員会競技役員

総 括	笹林義春					
副総括	今来サキ					
総務担当	竹内ヒロ子	山中達雄	矢野圭典	嶋田菜乃		
総 務	岩崎修二	菅野宏潔	児玉章夫	厚川 勇	安藤武夫	杉山 保
	若月滋人	山口由記子	久保田剛	簑 栄三	古城春菜	川杉通昌
	向井晴久	露木博保	善如寺日雄	土田証雄	大塚敏之	木村笑美子
	横田和長	目黒克彦	熊倉光男	石森敏男	河内準治	西村和宏
	松本竜典	菅家佐智子	鈴木真知子	鶴田雅子	森 麗子	佐野玲子
	小庭洋子	岡村敦子	塚田敦子	伊藤ちはる	松尾智子	宮本はるみ
	佐藤利子	高橋静世	小堂順子	高橋公子	小林清美	山田博子
	大関萬里子	飯野洋子	森本浩子	尾崎香代子	深見妙子	平岩陽子
	上田佳代子	笠井恭子	羽切房子	小松崎喜美枝	牧 真由美	馬場陽子
	太田美佐子	池尻厚子	佐藤真理	一木晃子	小林紀子	寺本秋子
	塩満陽子	薗部典江	相馬真優奈	安齋綾夏	坂口真琴	山口真由佳
	阿由葉純代	西 祐子	白鳥 卓			
練習会場	笈川美詠子	浅見裕子	増田亮子	浅野茂子	山口千優	太田 操
	向 紀代美	中野鈴子	室伏由利	金子 緑	市川ゆみ	石 桂子
	中村正幸	山田良枝	勝部隆太			
財務	福島美記子	大平ヒサ				
広報担当	殿川宣勝	彌永正信	山城譲治	須田和裕		
広報	浅見 勇	山本洋彦	村主 実	川嶋史章	有村英泰	岩崎良彦
	本田裕士	榎本 諭	井本直孝	湯田 航星	園原昇真	鮑 智行
	李 順姫	平野世大	田中さくら	田中 敬一郎	牧野 倫太郎	高木彩乃
	山越 勇輝	亀山 千徳美	金子 凱			
競技担当	横山 登	内村 実	加藤 孝	中澤悦子	野村貴広	吉田 繁
	白鳥 卓	横川明弘				
競技	近岡 昭	稲村 昇	多田晃一	宮路秀憲	目黒仁一	梅野光一
	若林孝子	仲川敏幸	山本義正	加藤浩之	武藤英司	高野政男
	實方義久	山縣義文	村上知也	石田智佳子	遠山由貴江	櫛野興一朗
	宮本純一	小沼勇次	浅岡康夫			
式典担当	吉田 繁	千葉俊信	藤井弘行	上田敏之		
選手担当	兒嶋 昇	落合久夫	中村憲尚	村田千尋	渡会菜々	大友 累
	降旗恵美	峯尾貴子	若木杏奈	石井裕彬	篠 将広	土田智広
	杉原 年	田村旺子	三土修一朗	苗村匡一朗	濱野 洋	前村直輝
	笠原千晶	小団扇嘉仁	富田悠太郎	礒田杏実	伊藤 渚	後藤優和
	齊藤活輝	冨島廉生				
放送	伊藤奈穂子	山口絢子	岩崎未来	春日 希		
審判担当	原 正人	中野正一	渡邊春男			
国際審判	Jitirut Thanuakarapat	Shailesh Kulkarni	Christian Johannessen	Yassan Sairally	Leung Yuen Wah	Kim Kanghyun
	Steve Ong	Chen Ching-Ku	Kevin Banh	Haidar Dittoo	野々口栄二	辻中 孝彦
	上野 誠	坂本恵美	岩下真志郎	宮崎千晶		
審判員	前川 正	千葉 毅	山本幸恵	飯田加世子	田畑美和子	田辺 剛
	加藤純次	岩崎和実	山本淳子	荒牧奈美子	李 維清	謝 崇照
	姚 直森	小橋亦樂	望月久美	岡野文人	鈴木英昭	野村チエ子
	及川和恵	山田律子	菅野英美	日野秀子	髙木 実	茂田公基
	岡田時彦	石切所希実	柴田理恵	矢野節子	柳沢小夜子	川上成彦
	王 莊	莫 西	藤井 晃	増田智恵	佐藤政行	桐生義宏
	桐生里美	北瀬幸容	川村圭子	坂木令子	田中 香	桑本友子
	野津山恵美子	大谷留美	藤崎靖子	村田 香	横山朱美	草刈 学
	嵯峨野美幸	髙橋恭子	中川敬子	菅原弘子	松本有実	木村明美
	服部直美	菊井由美子	小坂ゆかり	千田有紀	奈良部美佐枝	毛塚照美
	猿田多美子	井出美佳	坂田真由美	新田恵子	井上つや子	武田小百合
	永井知可子	藤田友子	伊藤あや	大澤恵子	西山智音	小竹 禎
	伊草幸子	亀井恵理	新岡たかね	伏間誠志	齋藤篤思	岡野啓子
	福島美紀	向山晶江	大橋亜貴子	永瀬容子	小林聡子	矢嶋一枝
	五十畑利枝	西山桐香	山中恵美子	中條博美	中市貞子	大島久美子
	米山千鶴子	北川美也子	窪田 優	関 昭	石田敏夫	朝倉光隆
	藤田 徹	福田珠代	榎本幸弘	保科真紀江	新井博幸	北條健児
	工藤弘明	工藤史子	溝口千里	菊池とよ子	佐藤光明	勅使河原博
	仲田雅俊	依田文宏	新里恵美子	正田妙子	塩澤はるみ	平田京子
	藤田信子	大谷美穂	村上育子	木谷雅子	増田幸子	秋林江梨子
	小林和代	三浦秀明	高足由美子	萩原勝一	新井雄一	後藤裕邑
	鶴野 晃	平井牧子	安藤 功	岡部啓子	平山孝志	鳥越俊秀
	田中秀和	平野拓己	霜村敏夫	谷堂繁利	山上宏尚	沼田昭子
	福田聡子	藤井真理	宮田奈美	寺井直美	山川裕子	田口美里
	杉田文江	大杉朱美	井上伸子	河野 環	南川恭子	加瀬 恵
	田代蘭瑞	白木耕太郎	中村三男	伊藤成子	瀬沼 誠	樋地正秀
	中村和男	渡辺美鈴	山田康子	柴田真理子	高橋直也	福田栄記
	横田和長	福士めい子	山口律子	前野 隆	前野ゆき子	佐藤幸正
	佐藤恵美子	軍司洋子	渡部京子	湯谷立夏	上野晴美	楯 篤志
	宮加谷亮子	野沢和子	大谷留美子	和田 恵	吉田恵子	田崎真光
	山田世貴	山川恭子	大嶋峰子	袖山夏樹	慶野 誠	佐倉和明
	吉田千代子	平野安男	山本雅己	梅薩喜久治	楠本伸二	土谷玲子
	原 文俊	西川 浩	百野郁子			
救護	小林總介	髙田 寿	渡辺啓太	山下 晢	相馬一仁	藤井賢吾
	鈴木利直	瀬田範行	セーボレー悦子	鮎川奈津子	平賀玲菜	元田ちずる
	木原笑美	星野珠美				



DAIHATSU YONEX JAPAN OPEN 2018
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

ダイハツはバドミントン日本代表を応援しています！

ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会の出場選手から日本代表選手への応援メッセージ



Light you up DAIHATSU























DAIHATSU × Badminton























ダイハツは、輝いたライフスタイルと軽やかな気持ちを提供します。
私たちのクルマをたくさんのお客様に乗って頂いている日本で、インドネシアで、マレーシアで、
バドミントンを通した取り組みが広がっています。どんな人にでも、この素晴らしいスポーツを楽しんでほしいから。
ラケットとシャトルが、感動を生む、絆をつくる。バドミントン日本代表、障がい者バドミントン日本代表へのサポートから、
全国小学生ＡＢＣ大会、各地で開催されるイベントまで。
ダイハツは今まで以上にバドミントンを盛り上げ、人々に新しい輝きを与えていきます。

DAIHATSU-BADMINTON

らしく、ともに、軽やかに Light you up DAIHATSU